

# 「糸島市の公共施設等に関する 市民アンケート調査報告」

平成 28 年 1 月実施

糸島市

## 目次

I. 調査概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の概要.....	1
3. アンケート分析の視点 .....	1
II. 調査結果.....	2
1. 回答者の属性.....	2
2. 公共施設の利用状況について .....	5
3. 今後の公共施設等の方向性.....	33
4. その他のクロス集計による分析.....	79
5. 自由回答 .....	83
(参考) 調査票.....	84

## I. 調査概要

---

### 1. 調査の目的

糸島市では、平成 28 年度の策定を目指して、「糸島市公共施設等総合管理計画」の検討を進めています。

この計画は、学校や公民館などの公共施設、道路・橋などの公共インフラ施設の老朽化が進む一方、全国的に維持・更新費用の確保が難しくなっていることから、国が全国の自治体に策定要請を行っているものです。

現在、糸島市では保有する施設の現状調査や分析を進めており、今後、市民や有識者の意見を反映しながら、これからの公共施設等のあり方について検討しています。この検討に当たり、市民の皆様の公共施設の利用状況や今後の新設、建替え、維持等に関する考え方などをお尋ねし、そのご意見を計画策定に反映させることを目的に実施しました。

### 2. 調査の概要

#### (1) 調査内容

糸島市の公共施設の再編に対する考え方や、各公共施設の利用状況など

#### (2) 調査対象

住民基本台帳から無作為に抽出した 20 歳以上の市民

※糸島市個人情報保護条例第 14 条(目的外利用)第 2 項第 5 号の規定に基づき、糸島市個人情報保護審議会の承認を受け、住民基本台帳から抽出

#### (3) 対象者数

市民 2,000 人

#### (4) 調査手法

アンケート調査票を対象市民に郵送

#### (5) 実施時期

平成 28 年 1 月 6 日～平成 28 年 1 月 27 日

#### (6) 回収数

1,004 人 (回収率 : 50.2%)

※うち、1 件白紙のため回答者数 1,003 件 (回答率 : 50.2%)

### 3. アンケート分析の視点

単純集計に加え、属性別の傾向を把握するため、下記属性区分でのクロス分析を実施。

なお、クロス分析に採用した属性は、設問により異なる。

- ①年代別 ……50 代以上が全体の 6 割の回答を占めるため、各年代別意見の確認
- ②子育て世帯 ……定住を促進している 18 歳以下の子供がいる世帯の意見の確認
- ③校区別 ……15 校区で、校区別意見に差異があるかの確認
- ④公共施設の利用有無……施設の利用の有無による意見に差異があるか確認 (25 施設)
- ⑤週 1 回以上施設利用者…ヘビーユーザーとしての施設利用者の意見の確認 (25 施設)
- ⑥利用施設数別 ……利用施設の多寡による意見に差異があるかの確認 (25 施設)
- ⑦公共施設マネジメントの取組認知度別……マネジメントの認知度別の意見の確認

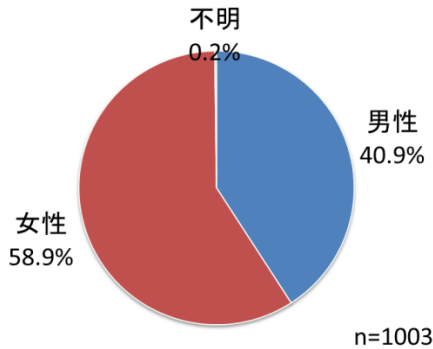
※糸島市役所は利用率 80%以上のため、④～⑥では利用施設にカウントしていない。

## Ⅱ. 調査結果

### 1. 回答者の属性

#### (1) 性別

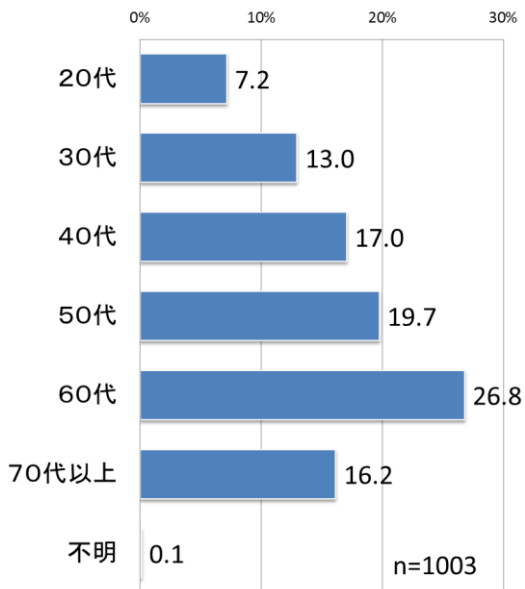
女性の回答が、全回答者数の約 60%を占めている。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 男性	410	40.9
2. 女性	591	58.9
不明	2	0.2
全体	1,003	100

#### (2) 年齢

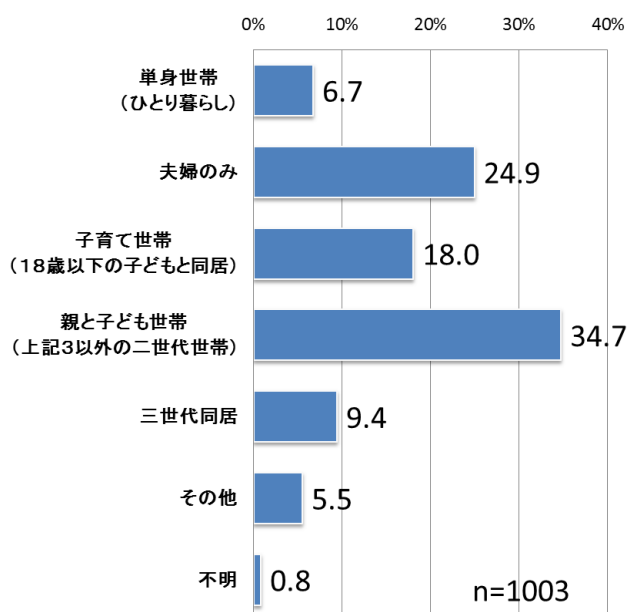
60歳代の回答者数が最大で、全体の約 27%を占めている。次いで 50代が多く、回答者は比較的年齢層が高い傾向にある。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 20代	72	7.2
2. 30代	130	13.0
3. 40代	171	17.0
4. 50代	198	19.7
5. 60代	269	26.8
6. 70代以上	162	16.2
不明	1	0.1
全体	1,003	100.0

### (3) 家族構成

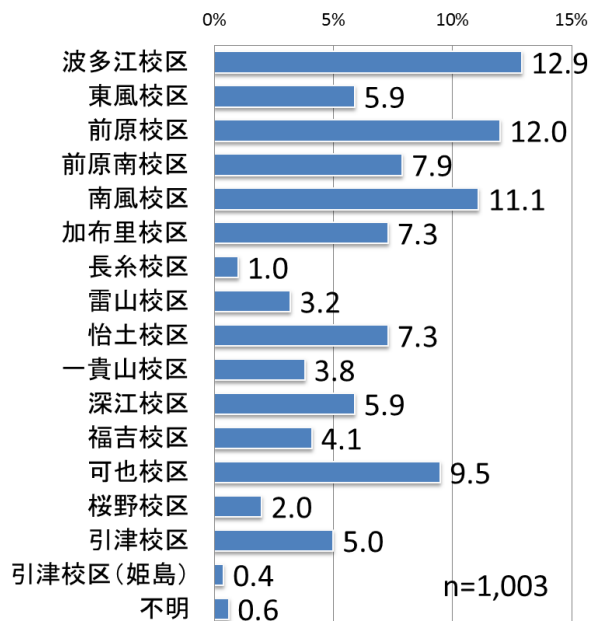
親と19歳以上の子ども世帯の回答が最も多く、回答者全体の約35%を占める。次いで多いのは、夫婦のみ世帯（約25%）である。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 単身世帯 (ひとり暮らし)	67	6.7
2. 夫婦のみ	250	24.9
3. 子育て世帯 (18歳以下の子どもと同居)	181	18.0
4. 親と子ども世帯 (上記3以外の二世帯世帯)	348	34.7
5. 三世帯同居	94	9.4
6. その他	55	5.5
不明	8	0.8
全体	1,003	100

#### (4) お住まいの校区

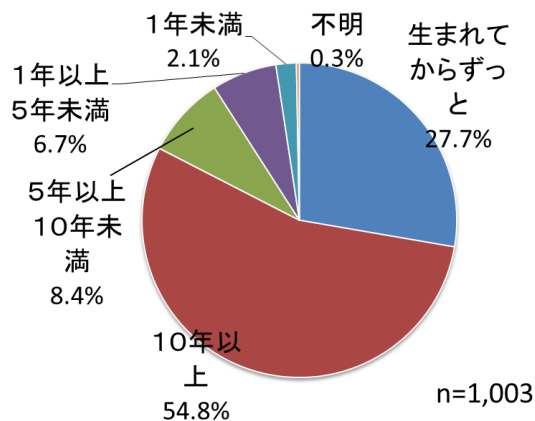
前原北部地域に属する、波多江校区・前原校区・南風校区に居住する市民で全体の約40%を占める。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 波多江校区	131	12.9
2. 東風校区	58	5.9
3. 前原校区	120	12.0
4. 前原南校区	80	7.9
5. 南風校区	110	11.1
6. 加布里校区	72	7.3
7. 長糸校区	10	1.0
8. 雷山校区	35	3.2
9. 怡土校区	74	7.3
10. 一貴山校区	38	3.8
11. 深江校区	59	5.9
12. 福吉校区	42	4.1
13. 可也校区	94	9.5
14. 桜野校区	20	2.0
15. 引津校区	50	5.0
16. 引津校区(姫島)	4	0.4
不明	6	0.6
全体	1,003	100

#### (5) 糸島市に住んでいる期間

糸島市に10年以上居住している市民の割合が高く、全体の80%を超える。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 生まれてからずっと	278	27.7
2. 10年以上	550	54.8
3. 5年以上10年未満	84	8.4
4. 1年以上5年未満	67	6.7
5. 1年未満	21	2.1
不明	3	0.3
全体	1,003	100.0

## 2. 公共施設の利用状況について

各公共施設の利用状況については以下のとおり。

①利用状況は、過去1年間の各施設の利用状況について1つ回答。

②利用しなかった理由は、①で「4.利用したことがない」を選択した場合のみ回答し、複数回答可。

(上段：回答数、下段：割合)

施設分類・施設名		①利用状況				②利用しなかった理由						
		1 週に1回 以上	2 月に1回 以上	3 年に1回 ~数回	4 利用したこ とがない	ア 利用機会 がなかった	イ 交通の便 が悪い	ウ 施設自体 を知らない	エ 他市の同 種施設利 用	オ 希望日に 利用できな い	カ 利用料金 が高い	キ その他
市民文化・ 社会教育系	校区公民館	25 2%	77 8%	358 36%	475 47%	387 81%	2 0%	14 3%	6 1%	4 1%	1 0%	26 6%
	図書館 (本館・分館)	20 2%	105 10%	213 21%	585 58%	438 75%	19 3%	27 5%	13 2%	6 1%	1 0%	39 7%
	博物館	3 0%	1 0%	109 11%	795 79%	536 67%	25 3%	143 18%	12 2%	4 1%	0 0%	35 4%
	歴史資料館	4 0%	2 0%	153 15%	757 75%	544 72%	31 4%	87 12%	9 1%	3 0%	1 0%	39 5%
	伊都文化会館	3 0%	22 2%	430 43%	474 47%	395 83%	4 1%	7 2%	5 1%	2 0%	2 0%	25 5%
	男女共同参画 センター	3 0%	1 0%	39 4%	870 87%	579 66%	9 1%	200 23%	5 1%	0 0%	1 0%	30 3%
	人権センター	2 0%	5 1%	103 10%	806 80%	587 73%	5 1%	120 15%	3 0%	0 0%	1 0%	35 4%
	スポーツ系	14 1%	10 1%	127 13%	769 77%	565 73%	14 2%	102 13%	6 1%	2 0%	1 0%	23 3%
野球場	4 0%	5 1%	52 5%	855 85%	643 75%	10 1%	96 11%	2 0%	2 0%	0 0%	31 4%	
運動広場	4 0%	9 1%	91 9%	812 81%	588 72%	11 1%	123 15%	7 1%	1 0%	0 0%	28 3%	
テニスコート	8 1%	2 0%	13 1%	895 89%	621 69%	9 1%	159 18%	4 0%	1 0%	0 0%	36 4%	
小中学校施設 (グラウンド、体育館等)	27 3%	20 2%	268 27%	603 60%	498 82%	1 0%	11 2%	2 0%	0 0%	0 0%	28 5%	

(続き)

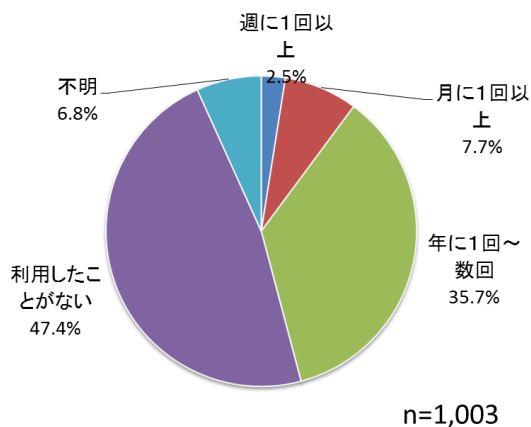
施設分類・施設名		①利用状況				②利用しなかった理由						
		1週に1回以上	2月に1回以上	3年に1回～数回	4回以上利用したことがない	ア利用機会がなかった	イ交通の便が悪い	ウ施設自体を知らない	エ他市の同種施設利用	オ希望日に利用できない	カ利用料金が低い	キその他
産業観光系	応援プラザ	2 0%	2 0%	55 6%	845 84%	499 59%	10 1%	251 30%	1 0%	0 0%	0 0%	24 3%
	福ふくの里	20 2%	76 8%	361 36%	470 47%	339 72%	31 7%	56 12%	0 0%	0 0%	1 0%	17 4%
	ファームパーク伊都国	3 0%	21 2%	229 23%	665 66%	476 71%	39 6%	79 12%	0 0%	2 0%	0 0%	24 4%
	瑞梅寺山の家	0 0%	0 0%	40 4%	878 88%	585 67%	40 5%	170 19%	4 1%	1 0%	1 0%	25 3%
	木の香ランド	0 0%	0 0%	59 6%	860 86%	580 67%	42 5%	161 19%	3 0%	0 0%	7 1%	26 3%
	白糸の滝ふれあいの里	2 0%	1 0%	294 29%	626 62%	444 71%	34 5%	82 13%	0 0%	0 0%	2 0%	17 3%
保健福祉系	きららの湯(健康)	15 2%	58 6%	348 35%	515 51%	370 72%	30 6%	14 3%	16 3%	4 1%	6 1%	37 7%
	あごら(社会福祉)	9 1%	29 3%	322 32%	559 56%	434 78%	24 4%	24 4%	2 0%	3 1%	0 0%	19 3%
	ふれあい(社会福祉)	1 0%	12 1%	98 10%	804 80%	542 67%	11 1%	169 21%	1 0%	0 0%	0 0%	16 2%
	二丈苑(高齢者福祉)	3 0%	2 0%	35 5%	877 86%	583 66%	9 1%	208 24%	1 0%	1 0%	0 0%	22 3%
	いこいの家(高齢者福祉)	2 0%	2 0%	9 1%	905 90%	596 66%	6 1%	222 25%	2 0%	0 0%	0 0%	21 2%
	はつらつ館(高齢者福祉)	4 0%	5 1%	11 1%	898 90%	584 65%	5 1%	227 25%	0 0%	0 0%	0 0%	21 2%
	子育て支援センター(児童)	2 0%	6 1%	43 4%	863 86%	602 70%	4 1%	145 17%	0 0%	1 0%	0 0%	30 4%
行政系	糸島市役所(支所含む)	10 1%	67 7%	751 75%	104 10%	80 74%	0 0%	1 1%	0 0%	1 1%	0 0%	9 17%



## 市民文化・社会教育系／校区公民館

### ①利用状況

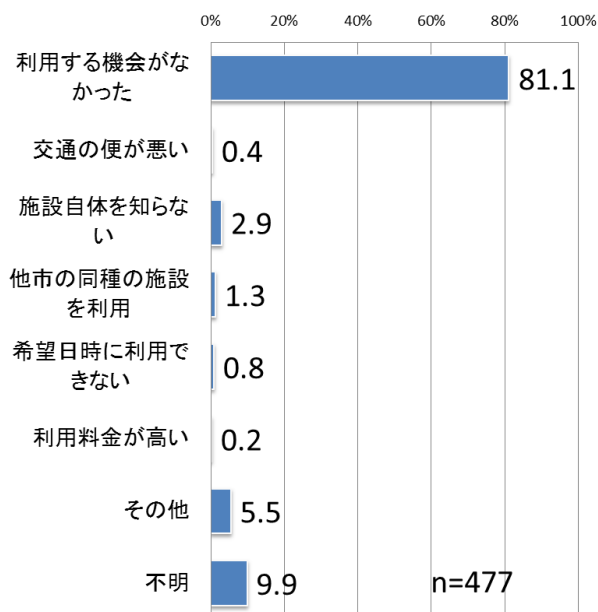
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民の数はおよそ半数を占める。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	25	2.5
2. 月に1回以上	77	7.7
3. 年に1回～数回	358	35.7
4. 利用したことがない	475	47.4
不明	68	6.8
全体	1,003	100

### ②利用しなかった理由

当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の81%を占める。

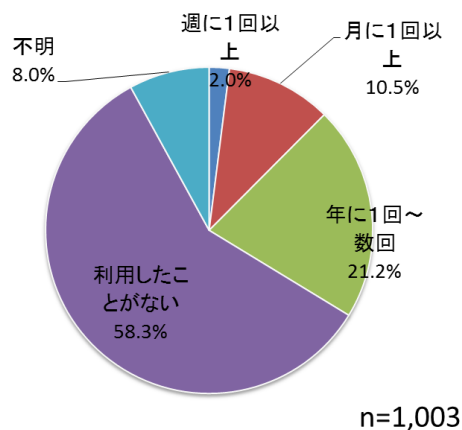


回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	387	81.1
2. 交通の便が悪い	2	0.4
3. 施設自体を知らない	14	2.9
4. 他市の同種の施設を利用	6	1.3
5. 希望日時に利用できない	4	0.8
6. 利用料金が高い	1	0.2
7. その他	26	5.5
不明	47	9.9

## 市民文化・社会教育系／図書館（本館・分館）

### ①利用状況

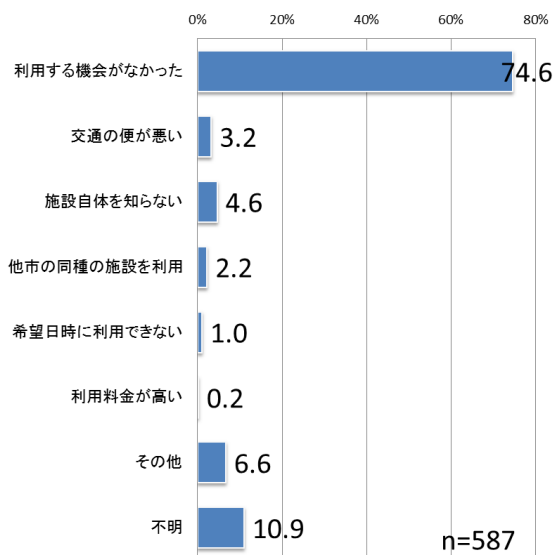
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民は、全体の58%である。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	20	2.0
2. 月に1回以上	105	10.5
3. 年に1回～数回	213	21.2
4. 利用したことがない	585	58.3
不明	80	8.0
全体	1,003	100

### ②利用しなかった理由

当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の約75%を占める。

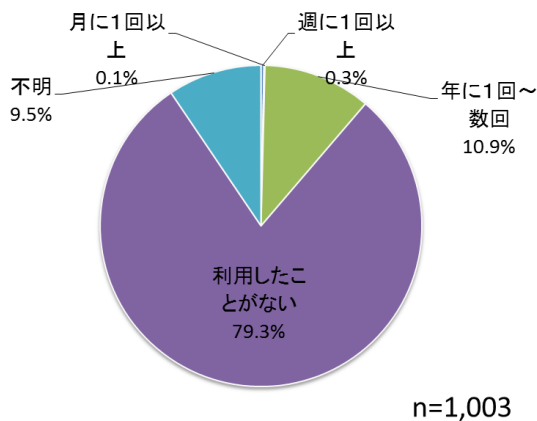


回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	438	74.6
2. 交通の便が悪い	19	3.2
3. 施設自体を知らない	27	4.6
4. 他市の同種の施設を利用	13	2.2
5. 希望日時に利用できない	6	1.0
6. 利用料金が低い	1	0.2
7. その他	39	6.6
不明	44	10.9

## 市民文化・社会教育系／博物館

### ①利用状況

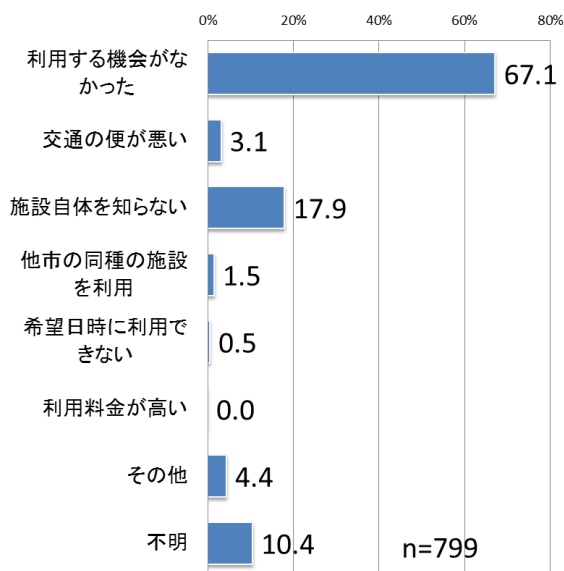
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民は、全体の80%である。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	3	0.3
2. 月に1回以上	1	0.1
3. 年に1回～数回	109	10.9
4. 利用したことがない	795	79.3
不明	95	9.5
全体	1,003	100

### ②利用しなかった理由

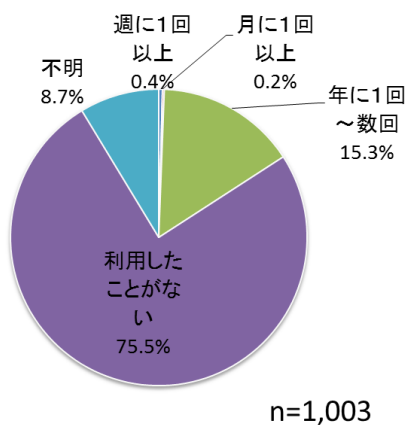
当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の約67%を占める。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	536	67.1
2. 交通の便が悪い	25	3.1
3. 施設自体を知らない	143	17.9
4. 他市の同種の施設を利用	12	1.5
5. 希望日時に利用できない	4	0.5
6. 利用料金が低い	0	0.0
7. その他	35	4.4
不明	83	10.4

①利用状況

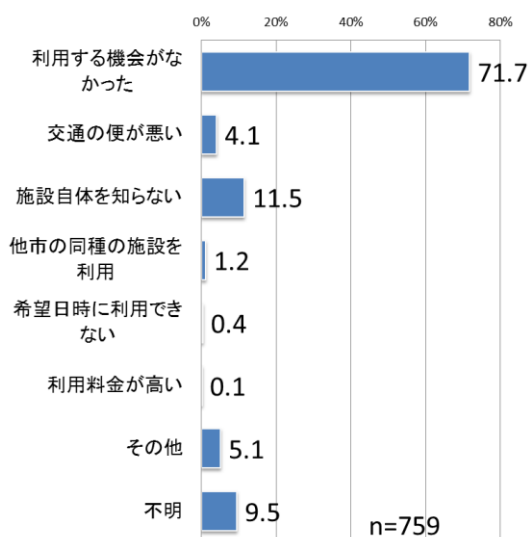
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民は、全体の約76%である。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	4	0.4
2. 月に1回以上	2	0.2
3. 年に1回～数回	153	15.3
4. 利用したことがない	757	75.5
不明	87	8.7
全体	1,003	100

②利用しなかった理由

当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の約72%を占める。

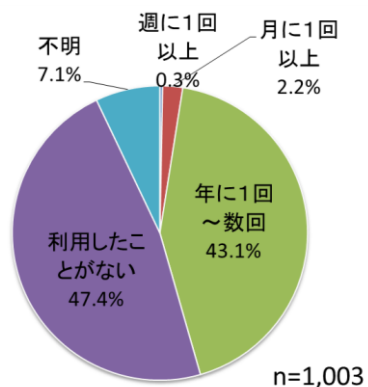


回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	544	71.7
2. 交通の便が悪い	31	4.1
3. 施設自体を知らない	87	11.5
4. 他市の同種の施設を利用	9	1.2
5. 希望日時に利用できない	3	0.4
6. 利用料金が高い	1	0.1
7. その他	39	5.1
不明	72	9.5

## 市民文化・社会教育系／伊都文化会館

### ①利用状況

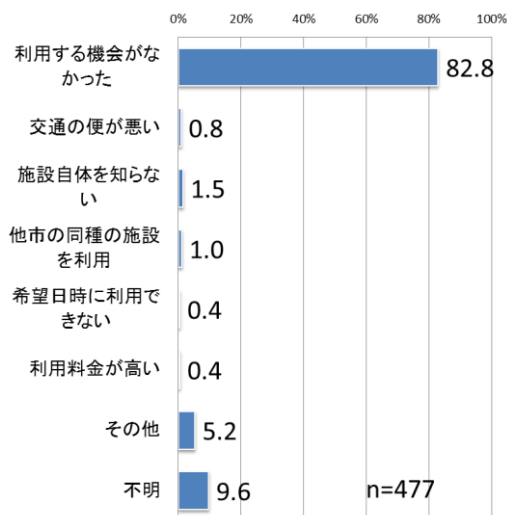
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民は、全体の約47%である。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	3	0.3
2. 月に1回以上	22	2.2
3. 年に1回～数回	432	43.1
4. 利用したことがない	475	47.4
不明	71	7.1
全体	1,003	100

### ②利用しなかった理由

当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の約83%を占める。

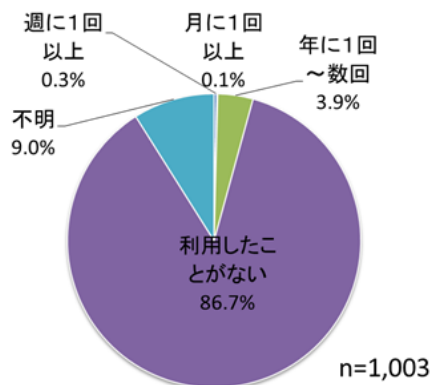


回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	395	82.8
2. 交通の便が悪い	4	0.8
3. 施設自体を知らない	7	1.5
4. 他市の同種の施設を利用	5	1.0
5. 希望日時に利用できない	2	0.4
6. 利用料金が低い	2	0.4
7. その他	25	5.2
不明	46	9.6

## 市民文化・社会教育系／男女共同参画センター

### ①利用状況

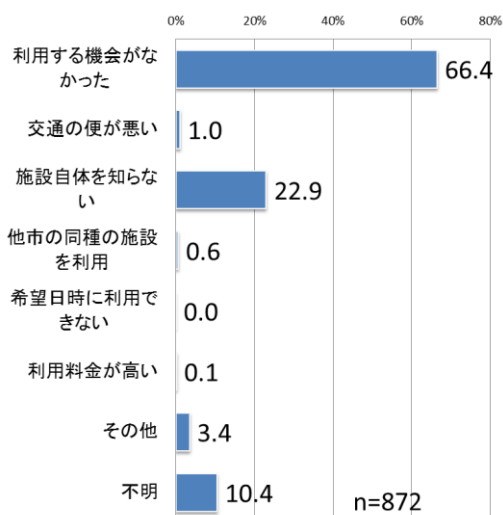
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民は、全体の約87%である。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	3	0.3
2. 月に1回以上	1	0.1
3. 年に1回～数回	39	3.9
4. 利用したことがない	870	86.7
不明	90	9.0
全体	1,003	100

### ②利用しなかった理由

当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の約66%を占める。また、他施設と比較して、「施設自体を知らない」と回答した市民の割合が高く、23%であった。

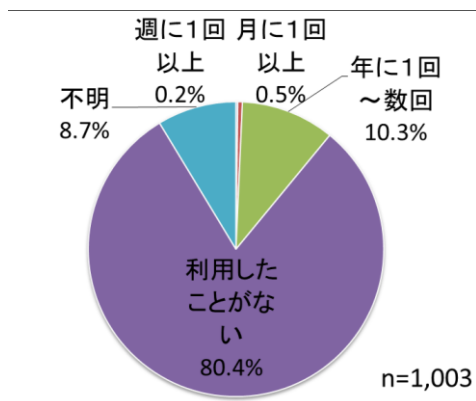


回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	579	66.4
2. 交通の便が悪い	9	1.0
3. 施設自体を知らない	200	22.9
4. 他市の同種の施設を利用	5	0.6
5. 希望日時に利用できない	0	0.0
6. 利用料金が高い	1	0.1
7. その他	30	3.4
不明	91	10.4

## 市民文化・社会教育系／人権センター

### ①利用状況

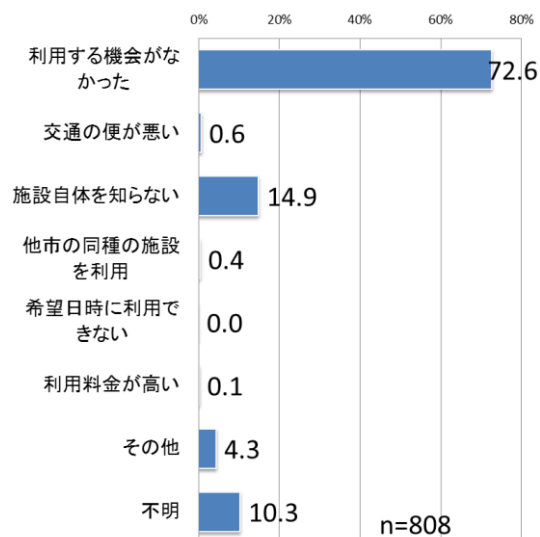
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民は、全体の約80%である。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	2	0.2
2. 月に1回以上	5	0.5
3. 年に1回～数回	103	10.3
4. 利用したことがない	806	80.4
不明	87	8.7
全体	1,003	100

### ②利用しなかった理由

当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の約73%を占める。

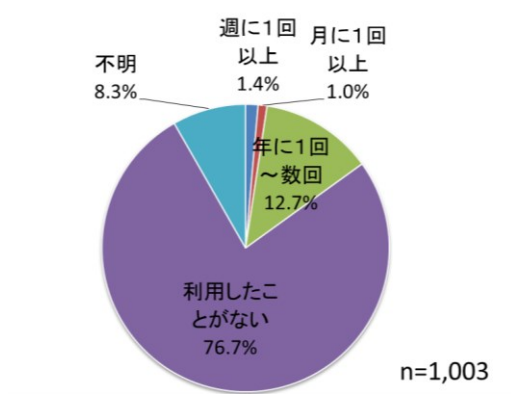


回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	587	72.6
2. 交通の便が悪い	5	0.6
3. 施設自体を知らない	120	14.9
4. 他市の同種の施設を利用	3	0.4
5. 希望日時に利用できない	0	0.0
6. 利用料金が高い	1	0.1
7. その他	35	4.3
不明	83	10.3

## スポーツ／体育館

### ①利用状況

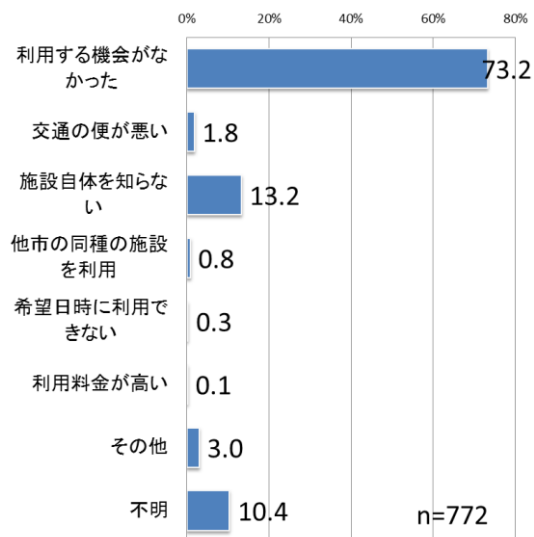
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民は、全体の約77%である。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	14	1.4
2. 月に1回以上	10	1.0
3. 年に1回～数回	127	12.7
4. 利用したことがない	769	76.7
不明	83	8.3
全体	1,003	100

### ②利用しなかった理由

当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の約73%を占める。



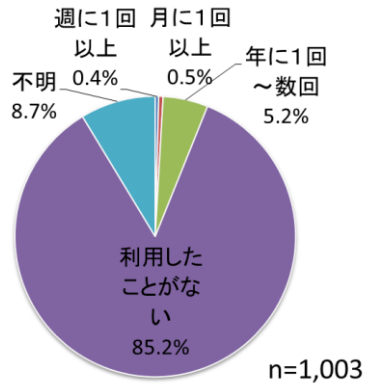
回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	565	73.2
2. 交通の便が悪い	14	1.8
3. 施設自体を知らない	102	13.2
4. 他市の同種の施設を利用	6	0.8
5. 希望日時に利用できない	2	0.3
6. 利用料金が低い	1	0.1
7. その他	23	3.0
不明	80	10.4



## スポーツ／野球場

### ①利用状況

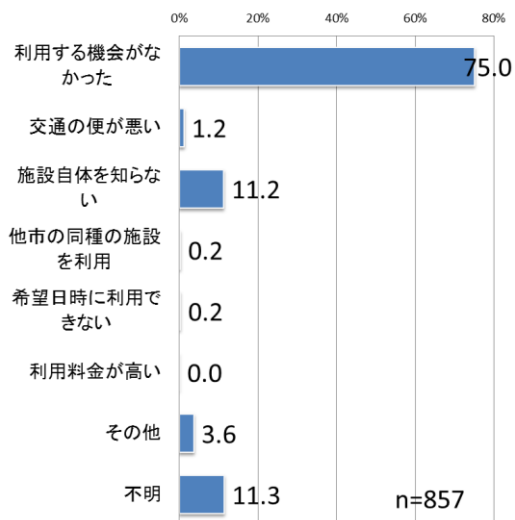
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民は、全体の約 85%である。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	4	0.4
2. 月に1回以上	5	0.5
3. 年に1回～数回	52	5.2
4. 利用したことがない	855	85.2
不明	87	8.7
全体	1,003	100

### ②利用しなかった理由

当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の 75%を占める。

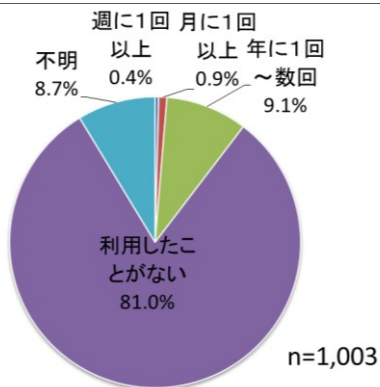


回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	643	75.0
2. 交通の便が悪い	10	1.2
3. 施設自体を知らない	96	11.2
4. 他市の同種の施設を利用	2	0.2
5. 希望日時に利用できない	2	0.2
6. 利用料金が低い	0	0.0
7. その他	31	3.6
不明	97	11.3

## スポーツ／運動広場

### ①利用状況

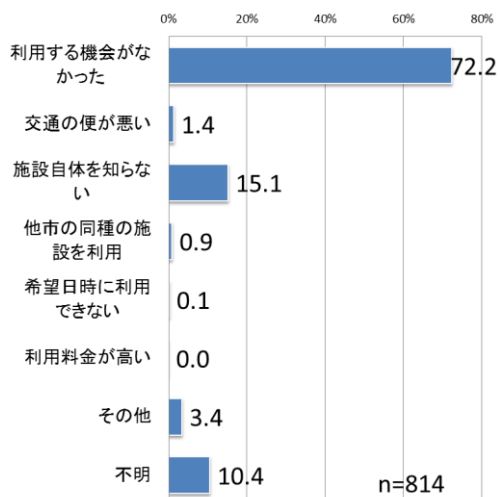
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民は、全体の81%である。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	4	0.4
2. 月に1回以上	9	0.9
3. 年に1回～数回	91	9.1
4. 利用したことがない	812	81.0
不明	87	8.7
全体	1,003	100

### ②利用しなかった理由

当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の約72%を占める。

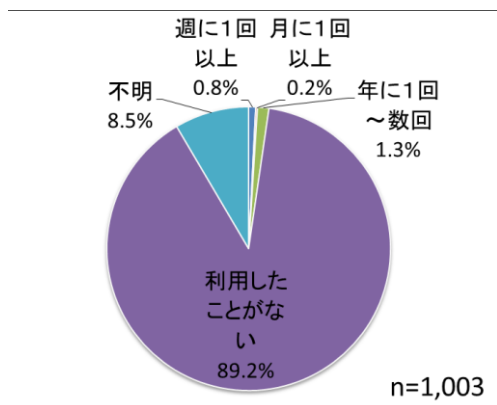


回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	588	72.2
2. 交通の便が悪い	11	1.4
3. 施設自体を知らない	123	15.1
4. 他市の同種の施設を利用	7	0.9
5. 希望日時に利用できない	1	0.1
6. 利用料金が高い	0	0.0
7. その他	28	3.4
不明	85	10.4

## スポーツ/テニスコート

### ①利用状況

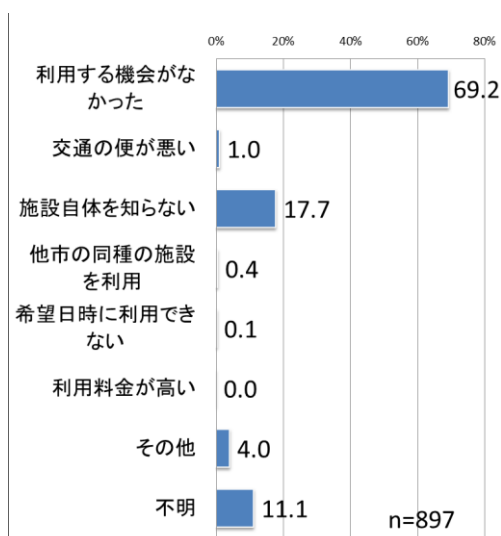
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民は、全体の89%である。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	8	0.8
2. 月に1回以上	2	0.2
3. 年に1回～数回	13	1.3
4. 利用したことがない	895	89.2
不明	85	8.5
全体	1,003	100

### ②利用しなかった理由

当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の約69%を占める。

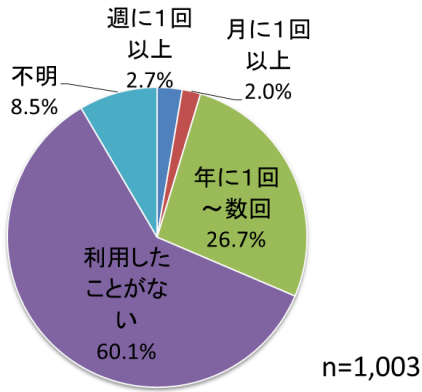


回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	621	69.2
2. 交通の便が悪い	9	1.0
3. 施設自体を知らない	159	17.7
4. 他市の同種の施設を利用	4	0.4
5. 希望日時に利用できない	1	0.1
6. 利用料金が高い	0	0.0
7. その他	36	4.0
不明	100	11.1

## スポーツ/小中学校施設（グラウンド、体育館等）

### ①利用状況

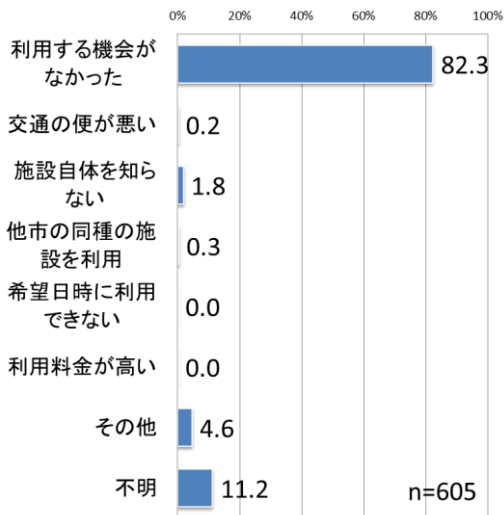
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民は、全体の60%である。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	27	2.7
2. 月に1回以上	20	2.0
3. 年に1回～数回	268	26.7
4. 利用したことがない	603	60.1
不明	85	8.5
全体	1,003	100

### ②利用しなかった理由

当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の約82%を占める。

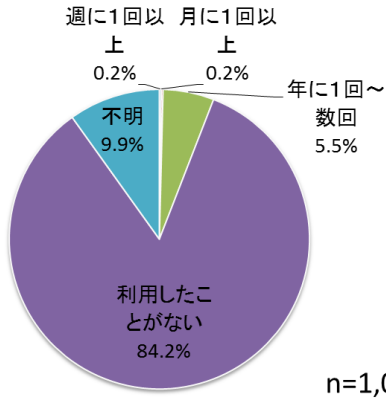


回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	498	82.3
2. 交通の便が悪い	1	0.2
3. 施設自体を知らない	11	1.8
4. 他市の同種の施設を利用	2	0.3
5. 希望日時に利用できない	0	0.0
6. 利用料金が低い	0	0.0
7. その他	28	4.6
不明	68	11.2

## 産業観光系／応援プラザ

### ①利用状況

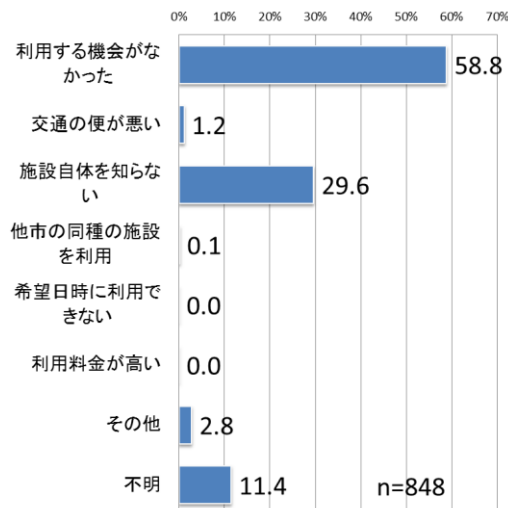
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民は、全体の84%である。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	2	0.2
2. 月に1回以上	2	0.2
3. 年に1回～数回	55	5.5
4. 利用したことがない	845	84.2
不明	99	9.9
全体	1,003	100

### ②利用しなかった理由

当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の約59%を占める。また、他の施設と比較して、「施設自体を知らない」と回答した市民の割合が約30%と多い。

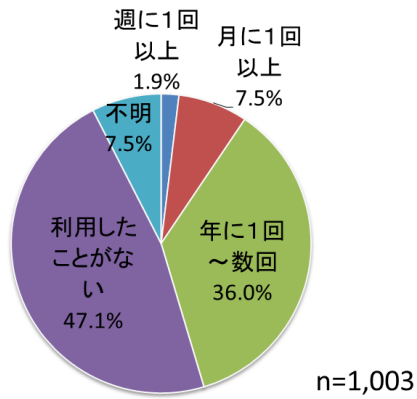


回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	499	58.8
2. 交通の便が悪い	10	1.2
3. 施設自体を知らない	251	29.6
4. 他市の同種の施設を利用	1	0.1
5. 希望日時に利用できない	0	0.0
6. 利用料金が低い	0	0.0
7. その他	24	2.8
不明	97	11.4

## 産業観光系／福ふくの里

### ①利用状況

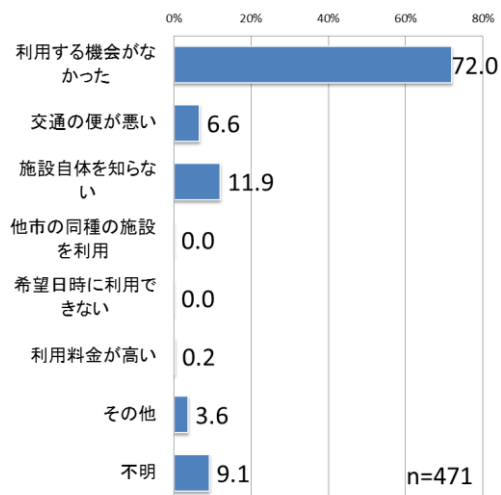
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民は、全体の47%である。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	20	1.9
2. 月に1回以上	76	7.5
3. 年に1回～数回	361	35.9
4. 利用したことがない	470	47.0
不明	76	7.5
全体	1,003	100

### ②利用しなかった理由

当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の72%を占める。

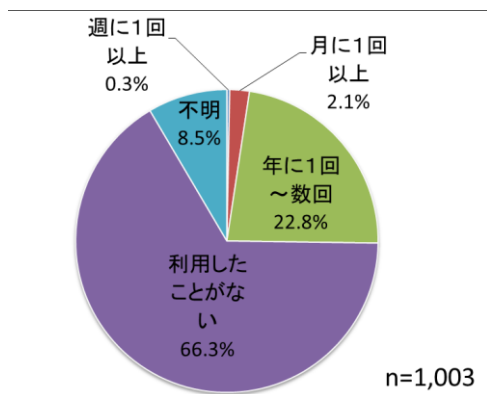


回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	339	72.0
2. 交通の便が悪い	31	6.6
3. 施設自体を知らない	56	11.9
4. 他市の同種の施設を利用	0	0.0
5. 希望日時に利用できない	0	0.0
6. 利用料金が低い	1	0.2
7. その他	17	3.6
不明	43	9.1

## 産業観光系／ファームパーク伊都国

### ①利用状況

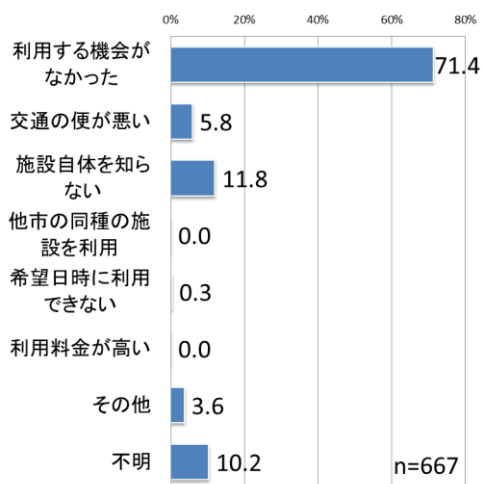
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民は、全体の約66%である。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	3	0.3
2. 月に1回以上	21	2.1
3. 年に1回～数回	229	22.8
4. 利用したことがない	665	66.3
不明	85	8.5
全体	1,003	100

### ②利用しなかった理由

当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の約71%を占める。

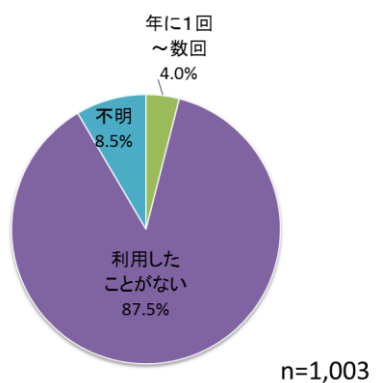


回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	476	71.4
2. 交通の便が悪い	39	5.8
3. 施設自体を知らない	79	11.8
4. 他市の同種の施設を利用	0	0.0
5. 希望日時に利用できない	2	0.3
6. 利用料金が高い	0	0.0
7. その他	24	3.6
不明	68	10.2

## 産業観光系／瑞梅寺山の家

### ①利用状況

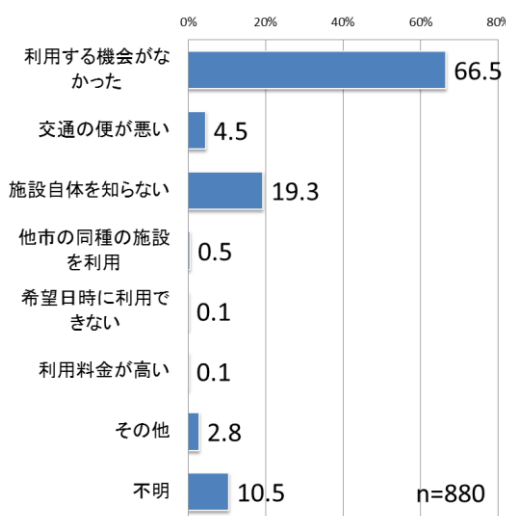
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民は、全体の約88%である。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	0	0.0
2. 月に1回以上	0	0.0
3. 年に1回～数回	40	4.0
4. 利用したことがない	878	87.5
不明	85	8.5
全体	1,003	100

### ②利用しなかった理由

当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の約67%を占める。



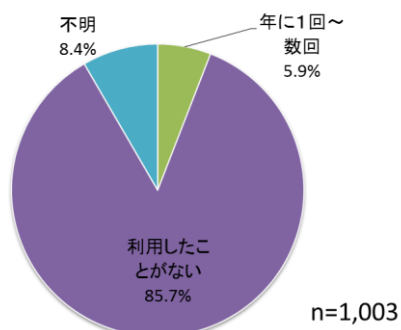
回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	585	66.5
2. 交通の便が悪い	40	4.5
3. 施設自体を知らない	170	19.3
4. 他市の同種の施設を利用	4	0.5
5. 希望日時に利用できない	1	0.1
6. 利用料金が高い	1	0.1
7. その他	25	2.8
不明	92	10.5



## 産業観光系／木の香ランド

### ①利用状況

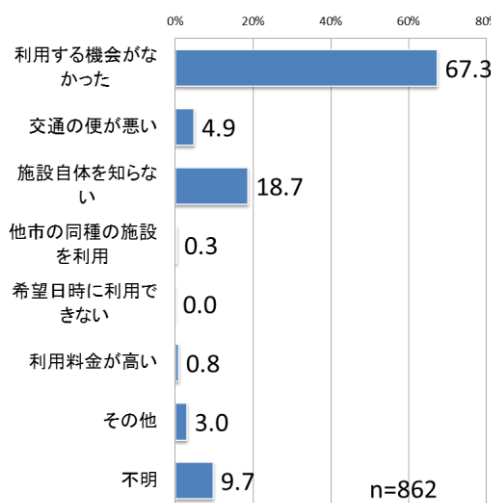
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民は、全体の約86%である。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	0	0.0
2. 月に1回以上	0	0.0
3. 年に1回～数回	59	5.9
4. 利用したことがない	860	85.7
不明	84	8.4
全体	1,003	100

### ②利用しなかった理由

当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の約67%を占める。

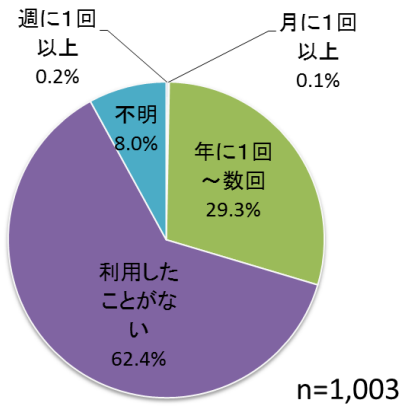


回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	580	67.3
2. 交通の便が悪い	42	4.9
3. 施設自体を知らない	161	18.7
4. 他市の同種の施設を利用	3	0.3
5. 希望日時に利用できない	0	0.0
6. 利用料金が高い	7	0.8
7. その他	26	3.0
不明	84	9.7

## 産業観光系／白糸の滝ふれあいの里

### ①利用状況

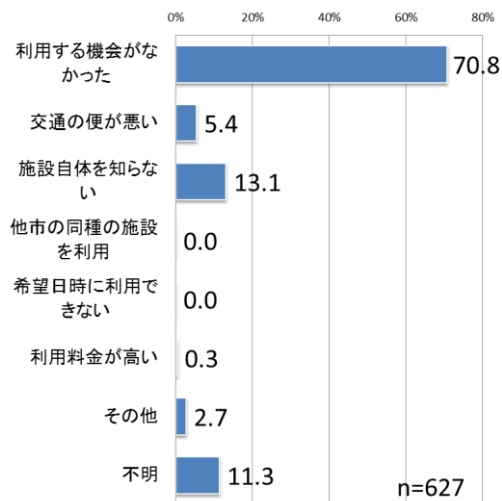
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民は、全体の約62%である。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	2	0.2
2. 月に1回以上	1	0.1
3. 年に1回～数回	294	29.3
4. 利用したことがない	626	62.4
不明	80	8.0
全体	1,003	100

### ②利用しなかった理由

当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の約71%を占める。

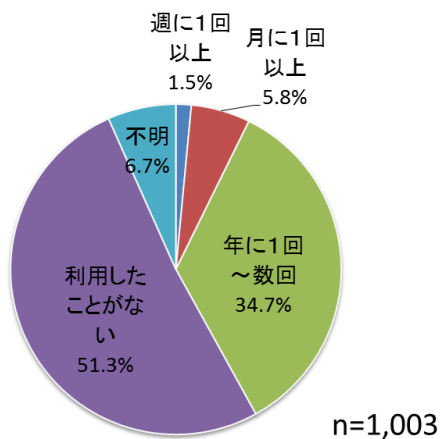


回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	444	70.8
2. 交通の便が悪い	34	5.4
3. 施設自体を知らない	82	13.1
4. 他市の同種の施設を利用	0	0.0
5. 希望日時に利用できない	0	0.0
6. 利用料金が高い	2	0.3
7. その他	17	2.7
不明	71	11.3

## 保健福祉系／きららの湯（健康）

### ①利用状況

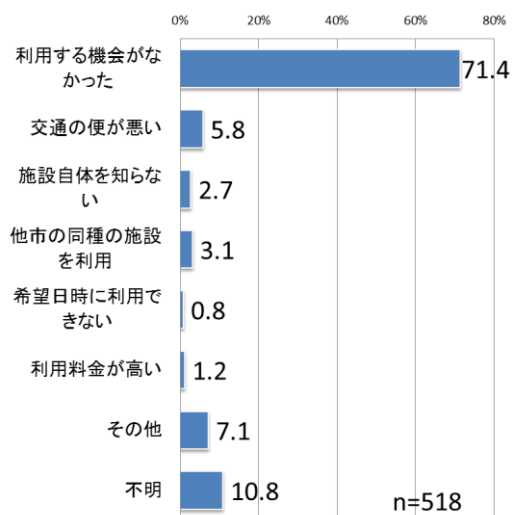
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民は、全体の約51%である。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	15	1.5
2. 月に1回以上	58	5.8
3. 年に1回～数回	348	34.7
4. 利用したことがない	515	51.3
不明	67	6.7
全体	1,003	100

### ②利用しなかった理由

当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の約71%を占める。

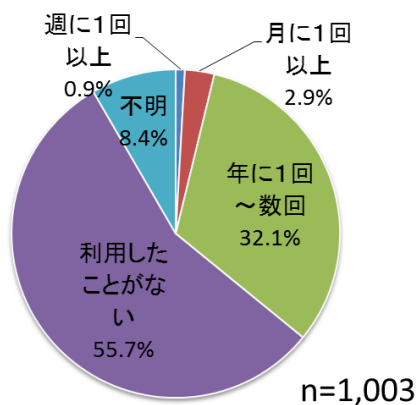


回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	370	71.4
2. 交通の便が悪い	30	5.8
3. 施設自体を知らない	14	2.7
4. 他市の同種の施設を利用	16	3.1
5. 希望日時に利用できない	4	0.8
6. 利用料金が高い	6	1.2
7. その他	37	7.1
不明	56	10.8

## 保健福祉系／あごら（社会福祉）

### ①利用状況

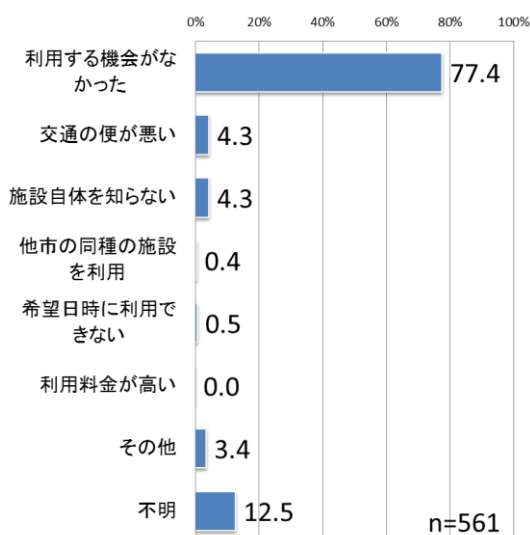
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民は、全体の約56%である。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	9	0.9
2. 月に1回以上	29	2.9
3. 年に1回～数回	322	32.1
4. 利用したことがない	559	55.7
不明	84	8.4
全体	1,003	100

### ②利用しなかった理由

当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の約77%を占める。

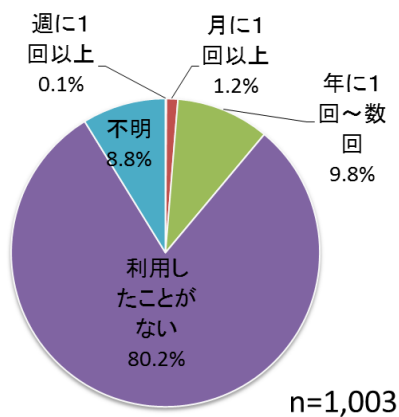


回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	434	77.4
2. 交通の便が悪い	24	4.3
3. 施設自体を知らない	24	4.3
4. 他市の同種の施設を利用	2	0.4
5. 希望日時に利用できない	3	0.5
6. 利用料金が低い	0	0.0
7. その他	19	3.4
不明	70	12.5

## 保健福祉系／ふれあい（社会福祉）

### ①利用状況

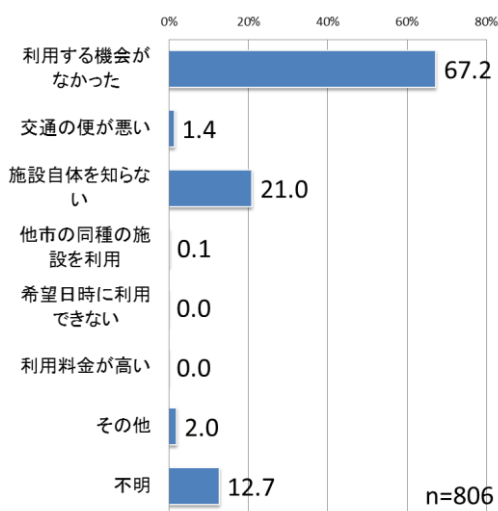
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民は、全体の約80%である。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	1	0.1
2. 月に1回以上	12	1.2
3. 年に1回～数回	98	9.8
4. 利用したことがない	804	80.2
不明	88	8.8
全体	1,003	100

### ②利用しなかった理由

当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の約67%を占める。

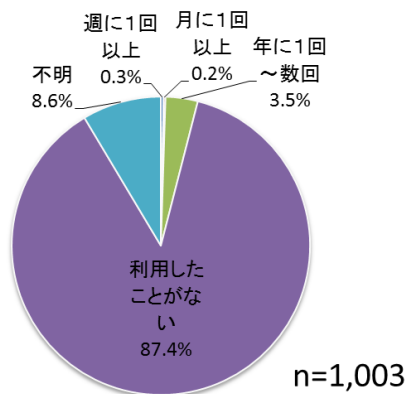


回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	542	67.2
2. 交通の便が悪い	11	1.4
3. 施設自体を知らない	169	21.0
4. 他市の同種の施設を利用	1	0.1
5. 希望日時に利用できない	0	0.0
6. 利用料金が高い	0	0.0
7. その他	16	2.0
不明	102	12.7

## 保健福祉系／二丈苑（高齢者福祉）

### ①利用状況

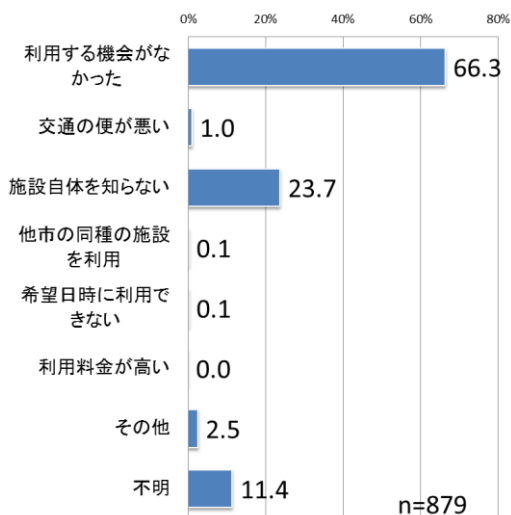
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民は、全体の約87%である。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	3	0.3
2. 月に1回以上	2	0.2
3. 年に1回～数回	35	3.5
4. 利用したことがない	877	87.4
不明	86	8.6
全体	1,003	100

### ②利用しなかった理由

当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の約66%を占める。また、「施設自体を知らない」と答えた市民の割合が約24%と、他の施設よりも比較的高い。

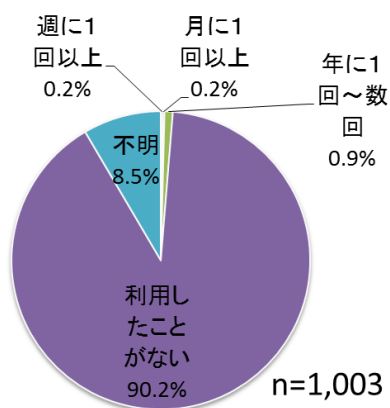


回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	583	66.3
2. 交通の便が悪い	9	1.0
3. 施設自体を知らない	208	23.7
4. 他市の同種の施設を利用	1	0.1
5. 希望日時に利用できない	1	0.1
6. 利用料金が高い	0	0.0
7. その他	22	2.5
不明	100	11.4

## 保健福祉系／いこいの家（高齢者福祉）

### ①利用状況

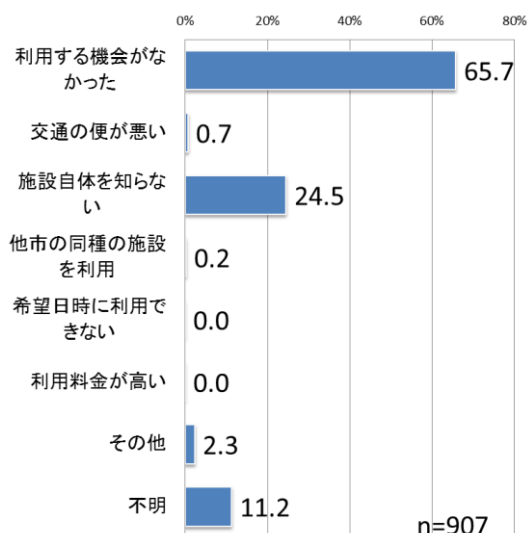
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民は、全体の約90%である。他の施設と比較すると、「使用したことがない」と回答している割合が非常に高い。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	2	0.2
2. 月に1回以上	2	0.2
3. 年に1回～数回	9	0.9
4. 利用したことがない	905	90.2
不明	85	8.5
全体	1,003	100

### ②利用しなかった理由

当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の約66%を占める。また、「施設自体を知らない」と答えた市民の割合が約25%と、他の施設よりも比較的高い。

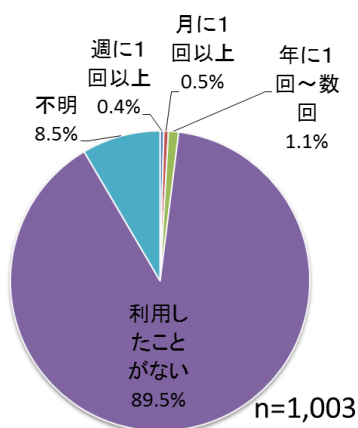


回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	596	65.7
2. 交通の便が悪い	6	0.7
3. 施設自体を知らない	222	24.5
4. 他市の同種の施設を利用	2	0.2
5. 希望日時に利用できない	0	0.0
6. 利用料金が低い	0	0.0
7. その他	21	2.3
不明	102	11.2

## 保健福祉系／はつらつ館（高齢者福祉）

### ①利用状況

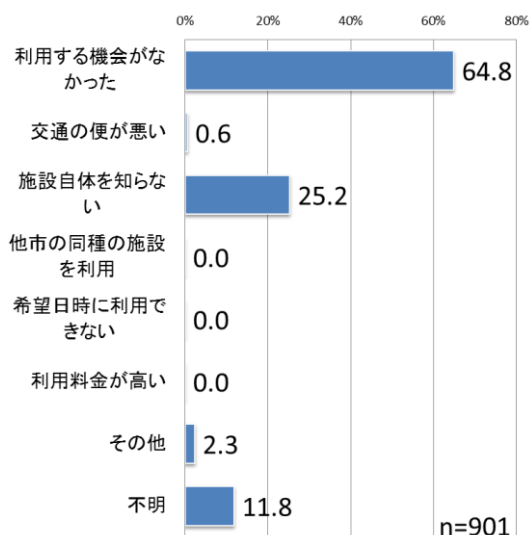
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民は、全体の約90%である。他の施設と比較すると、「使用したことがない」と回答している割合が非常に高い。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	4	0.4
2. 月に1回以上	5	0.5
3. 年に1回～数回	11	1.1
4. 利用したことがない	898	89.5
不明	85	8.5
全体	1,003	100

### ②利用しなかった理由

当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の約65%を占める。また、「施設自体を知らない」と答えた市民の割合が約25%と、他の施設よりも比較的高い。



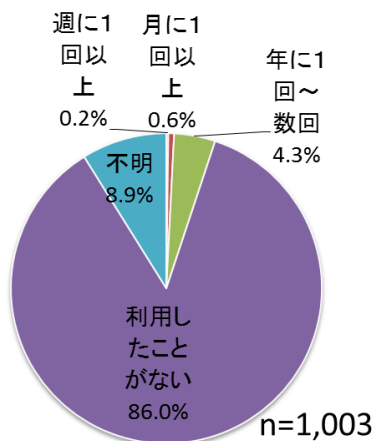
回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	584	64.8
2. 交通の便が悪い	5	0.6
3. 施設自体を知らない	227	25.2
4. 他市の同種の施設を利用	0	0.0
5. 希望日時に利用できない	0	0.0
6. 利用料金が低い	0	0.0
7. その他	21	2.3
不明	106	11.8



## 保健福祉系／子育て支援センター（児童）

### ①利用状況

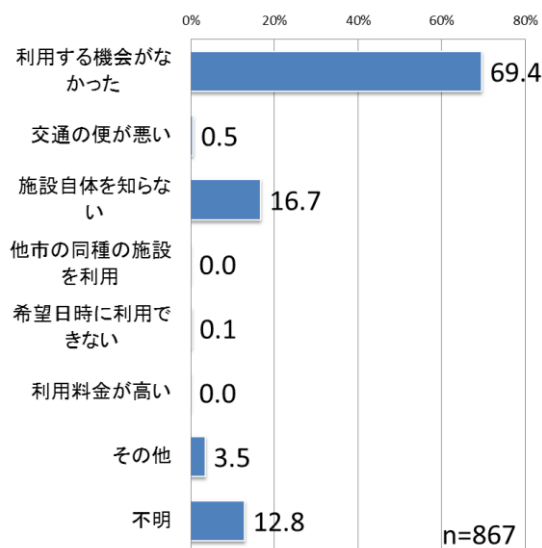
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民は、全体の86%である。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	2	0.2
2. 月に1回以上	6	0.6
3. 年に1回～数回	43	4.3
4. 利用したことがない	863	86.0
不明	89	8.9
全体	1,003	100

### ②利用しなかった理由

当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の約69%を占める。

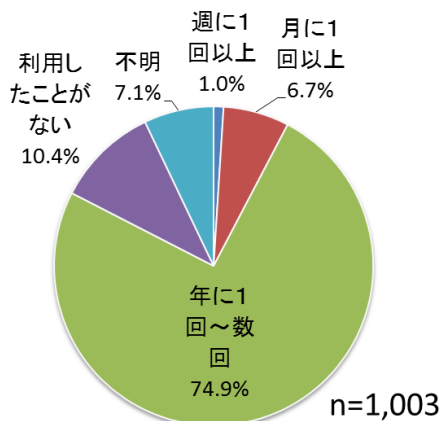


回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	602	69.4
2. 交通の便が悪い	4	0.5
3. 施設自体を知らない	145	16.7
4. 他市の同種の施設を利用	0	0.0
5. 希望日時に利用できない	1	0.1
6. 利用料金が高い	0	0.0
7. その他	30	3.5
不明	111	12.8

## 行政系／糸島市役所（支所含む）

### ①利用状況

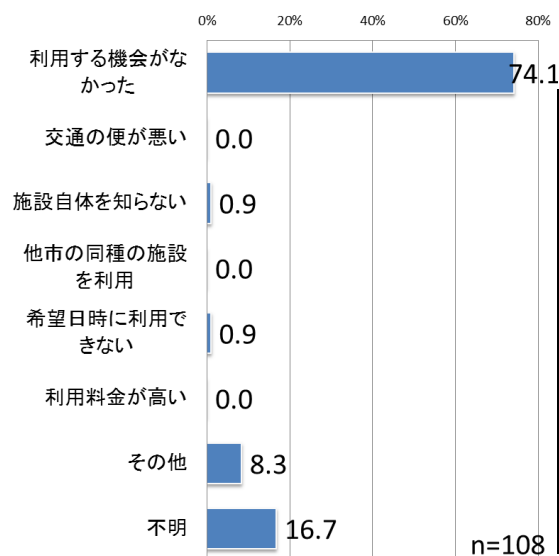
当該施設を「利用したことがない」と回答した市民は全体の約10%で、「利用したことがある」との回答が約82%を占めている。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 週に1回以上	10	1.0
2. 月に1回以上	67	6.7
3. 年に1回～数回	751	74.9
4. 利用したことがない	104	10.4
不明	71	7.1
全体	1,003	100

### ②利用しなかった理由

当該施設を利用したことがない理由としては、「利用する機会がなかった」という回答が全体の約74%を占める。



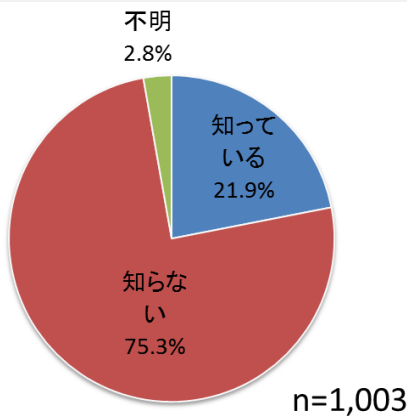
回答項目	回答数	割合 (%)
1. 利用する機会がなかった	80	74.1
2. 交通の便が悪い	0	0.0
3. 施設自体を知らない	1	0.9
4. 他市の同種の施設を利用	0	0.0
5. 希望日時に利用できない	1	0.9
6. 利用料金が高い	0	0.0
7. その他	9	8.3
不明	18	16.7

### 3. 今後の公共施設等の方向性

(1) 公共施設の老朽化、人口減少、少子化・高齢化、厳しい財政状況等は、全国の自治体の共通課題です。

多くの自治体では、公共施設の全てを現在の規模のまま、将来にわたり、維持・更新（建替え）していくことが難しくなることから、施設保有量の見直しや維持管理のあり方を検討する「公共施設マネジメント」の取組みを進めています。あなたはこのような取組みを知っていますか。

「公共施設マネジメント」の取組みについて「知っている」と回答した市民は約22%で、約75%が「知らない」と回答した。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 知っている	220	21.9
2. 知らない	755	75.3
不明	28	2.8
全体	1,003	100

#### 【クロス分析】 以下属性区分で実施 ①年代別 ②子育て世帯 ③校区別

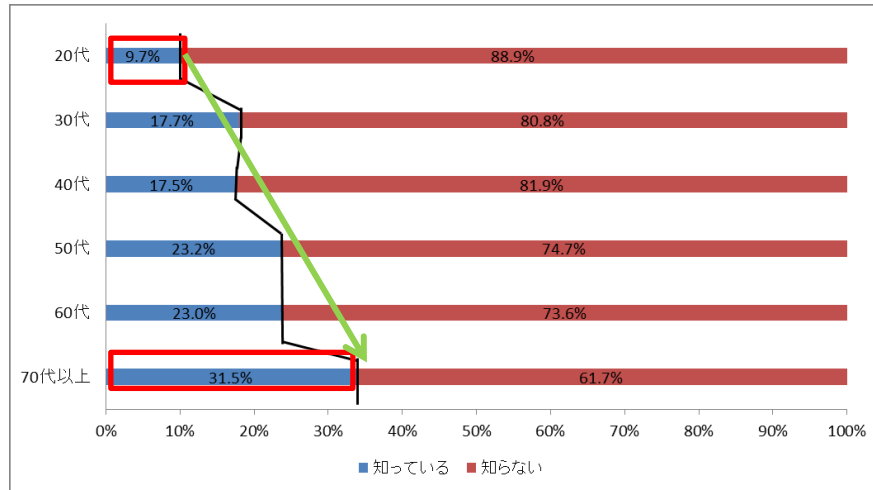
「公共施設マネジメント」の取組みについては、年代別、子育て世帯、校区別にみても、「知らない」という回答が多数を占めている。

しかしながら、20代は、70代が「知っている」と回答した割合の3分の1程度しか取組みについて知らなかった。

##### ①年代別

「公共施設マネジメント」の取組みについて、「知っている」と回答した割合が高い年代は、70代以上が最も高く、次いで50代、60代となっている。一方で、20代～40代の取組みに対する認知度が低い傾向にあることがわかる。特に20代は、70代が「知っている」と回答した割合の3分の1程度しか取組みについて知らなかった。

年代	公共施設マネジメントの取組みの認知		不明	合計
	知っている	知らない		
20代	7 9.7%	64 88.9%	1 1.4%	72 100%
30代	23 17.7%	105 80.8%	2 1.5%	130 100%
40代	30 17.5%	140 81.9%	1 0.6%	171 100%
50代	46 23.2%	148 74.7%	4 2.0%	198 100%
60代	62 23.0%	198 73.6%	9 3.3%	269 100%
70代以上	51 31.5%	100 61.7%	11 6.8%	162 100%



### ②子育て世帯

子育て世帯の公共施設マネジメントの取組み認知については、「知らない」という回答が85%と、高い割合となった。

	公共施設マネジメントの取組みの認知		不明	合計
	知っている	知らない		
回答数	24	154	3	181
割合	13.3%	85.1%	1.7%	100%

### ③校区別

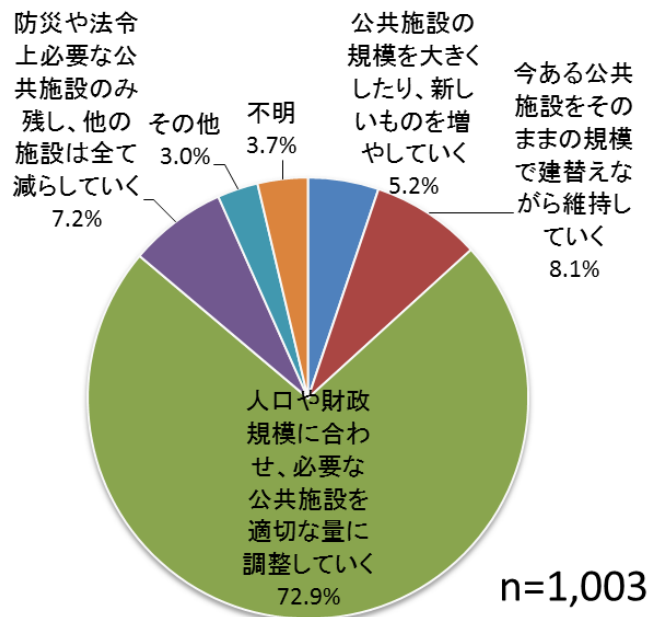
概ねどの校区においても、公共施設マネジメントの取組みについて「知らない」と回答する割合が高いことがわかる。

校区	公共施設マネジメントの取組み		不明	総計
	知っている	知らない		
波多江校区	23 17.6%	104 79.4%	4 3.1%	131 100%
東風校区	16 27.6%	41 70.7%	1 1.7%	58 100%
前原校区	30 25.0%	87 72.5%	3 2.5%	120 100%
前原南校区	16 20.0%	64 80.0%	0 0.0%	80 100%
南風校区	19 17.3%	88 80.0%	3 2.7%	110 100%
加布里校区	14 19.4%	56 77.8%	2 2.8%	72 100%
長糸校区	3 30.0%	7 70.0%	0 0.0%	10 100%
雷山校区	4 11.4%	29 82.9%	2 5.7%	35 100%
怡土校区	19 25.7%	52 70.3%	3 4.1%	74 100%
一貴山校区	7 18.4%	30 78.9%	1 2.6%	38 100%
深江校区	16 27.1%	42 71.2%	1 1.7%	59 100%
福吉校区	9 21.4%	29 69.0%	4 9.5%	42 100%
可也校区	25 26.6%	68 72.3%	1 1.1%	94 100%
桜野校区	2 10.0%	17 85.0%	1 5.0%	20 100%
引津校区	13 26.0%	37 74.0%	0 0.0%	50 100%
引津校区(姫島)	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	4 100%

(2) 糸島市でも合併後、施設の統合や民間移譲を進めてきましたが、今後は将来に渡って、市全体の公共施設のあり方を考える「公共施設マネジメント」に取り組んでいく必要があります。

取組の方向性として、あなたの考え方に近いものは、次のうちどれですか。(1つ選択)

「公共施設マネジメント」の取組みの方向性について、「人口や財政規模に合わせ、必要な公共施設を適切な量に調整していく」と回答した市民の合計は全体の約73%を占めた。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 公共施設の規模を大きくしたり、新しいものを増やしていく	52	5.2
2. 今ある公共施設をそのままの規模で建替えながら維持していく	81	8.1
3. 人口や財政規模に合わせ、必要な公共施設を適切な量に調整していく	731	72.9
4. 防災や法令上必要な公共施設のみ残し、他の施設は全て減らしていく	72	7.2
5. その他	30	3.0
不明	37	3.7
全体	1,003	100

【クロス分析】 以下属性区分で実施 ①年代別 ②子育て世帯 ③校区別 ④公共施設の利用有無

⑤週1回以上施設利用者 ⑥利用施設数 ⑦公共施設マネジメント認知

「公共施設マネジメント」の取組みの方向性について、最も多い回答については、各設定条件で共通しており、「人口や財政規模に合わせ、必要な公共施設を適切な量に調整していく」であった。

①年代別

各年代で、取組み方策として最も高い回答割合を示したものは、「人口や財政規模に合わせ、必要な公共施設を適切な量に調整していく」であった。2番目に割合が高い回答は、40代・60代・70代以上で「防災や法令上必要な公共施設のみ残し、他の施設は全て減らしていく」であるのに対し、20代・30代・50代では「公共施設の規模を大きくしたり、新しいものを増やしていく」という回答であった。

年代	取組みの方向性					不明	合計
	公共施設の規模を大きくしたり、新しいものを増やしていく	今ある公共施設をそのままの規模で建替えながら維持していく	人口や財政規模に合わせ、必要な公共施設を適切な量に調整していく	防災や法令上必要な公共施設のみ残し、他の施設は全て減らしていく	その他		
20代	11 15.3%	9 12.5%	46 63.9%	2 2.8%	2 2.8%	2	72
30代	12 9.2%	12 9.2%	90 69.2%	8 6.2%	5 3.8%	3	130
40代	5 2.9%	9 5.3%	141 82.5%	8 4.7%	4 2.3%	4	171
50代	10 5.1%	8 4.0%	162 81.8%	9 4.5%	5 2.5%	4	198
60代	10 3.7%	23 8.6%	186 69.1%	27 10.0%	10 3.7%	13	269
70代以上	4 2.5%	20 12.3%	106 65.4%	18 11.1%	3 1.9%	11	162

②子育て世帯

子育て世帯の取組みの方向性に対する意見としては、「人口や財政規模に合わせ、必要な公共施設を適切な量に調整していく」が約77%と高い割合となった。

	取組みの方向性					不明	合計
	公共施設の規模を大きくしたり、新しいものを増やしていく	今ある公共施設をそのままの規模で建替えながら維持していく	人口や財政規模に合わせ、必要な公共施設を適切な量に調整していく	防災や法令上必要な公共施設のみ残し、他の施設は全て減らしていく	その他		
回答数	15	13	139	5	4	5	181
割合	8.3%	7.2%	76.8%	2.8%	2.2%	2.8%	100%

### ③校区別

校区別にみる取組みの方向性は、各校区で「人口や財政規模に合わせ、必要な公共施設を適切な量に調整していく」という回答が最も多いことがわかる。

校区	取組みの方向性						合計
	公共施設の規模を大きくしたり、新しいものを増やしていく	今ある公共施設をそのままの規模で建替えながら維持していく	人口や財政規模に合わせ、必要な公共施設を適切な量に調整していく	防災や法令上必要な公共施設のみ残り、他の施設は全て減らしていく	その他	不明	
波多江校区	1	10	101	14	0	5	131
	0.8%	7.6%	77.1%	10.7%	0.0%	3.8%	100%
東風校区	4	6	38	4	3	3	58
	6.9%	10.3%	65.5%	6.9%	5.2%	5.2%	100%
前原校区	12	6	85	9	4	4	120
	10.0%	5.0%	70.8%	7.5%	3.3%	3.3%	100%
前原南校区	9	3	56	9	3	0	80
	11.3%	3.8%	70.0%	11.3%	3.8%	-	100%
南風校区	7	6	83	9	0	5	110
	6.4%	5.5%	75.5%	8.2%	-	4.5%	100%
加布里校区	5	8	49	4	4	2	72
	6.9%	11.1%	68.1%	5.6%	5.6%	2.8%	100%
長糸校区	0	2	7	1	0	0	10
	0.0%	20.0%	70.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100%
雷山校区	4	5	24	0	0	2	35
	11.4%	14.3%	68.6%	0.0%	0.0%	5.7%	100%
怡土校区	3	8	56	2	1	4	74
	4.1%	10.8%	75.7%	2.7%	1.4%	5.4%	100%
一貴山校区	2	3	28	4	0	1	38
	5.3%	7.9%	73.7%	10.5%	0.0%	2.6%	100%
深江校区	1	5	45	5	2	1	59
	1.7%	8.5%	76.3%	8.5%	3.4%	1.7%	100%
福吉校区	0	7	29	0	1	5	42
	0.0%	16.7%	69.0%	0.0%	2.4%	11.9%	100%
可也校区	2	8	72	6	4	2	94
	2.1%	8.5%	76.6%	6.4%	4.3%	2.1%	100%
桜野校区	0	1	14	3	1	1	20
	0.0%	5.0%	70.0%	15.0%	5.0%	5.0%	100%
引津校区	1	2	43	1	2	1	50
	2.0%	4.0%	86.0%	2.0%	4.0%	2.0%	100%
引津校区(姫島)	1	0	1	1	0	1	4
	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	100%

#### ④公共施設の利用有無

公共施設の利用有無によって、取組みの方向性に対して、考え方に大きな差はないことがわかる。最も多い回答は、公共施設の利用の有無にかかわらず、「人口や財政規模に合わせ、必要な公共施設を適切な量に調整していく」であった。しかしながら公共施設の利用があると回答したグループの方が、当該項目を選択した割合が約76%と、高い割合である。

公共施設の利用	取組みの方向性					不明	合計
	公共施設の規模を大きくしたり、新しいものを増やしていく	今ある公共施設をそのままの規模で建替えながら維持していく	人口や財政規模に合わせ、必要な公共施設を適切な量に調整していく	防災や法令上必要な公共施設のみ残り、他の施設は全て減らしていく	その他		
あり	48	69	638	55	20	15	845
	5.7%	8.2%	75.5%	6.5%	2.4%	1.8%	100%
なし	4	12	93	17	9	22	157
	2.5%	7.6%	59.2%	10.8%	5.7%	14.0%	100%

#### ⑤週1回以上施設利用者

週1回以上利用する施設がある人の取組みの方向性としては、「人口や財政規模に合わせ、必要な公共施設を適切な量に調整していく」という回答が最も多く、76%を占める。

	取組みの方向性					不明	合計
	公共施設の規模を大きくしたり、新しいものを増やしていく	今ある公共施設をそのままの規模で建替えながら維持していく	人口や財政規模に合わせ、必要な公共施設を適切な量に調整していく	防災や法令上必要な公共施設のみ残り、他の施設は全て減らしていく	その他		
回答数	6	11	93	6	2	4	122
割合	4.9%	9.0%	76.2%	4.9%	1.6%	3.3%	100%

#### ⑥利用施設数別

利用施設数（利用度）別に取組みの方向性をみると、いずれにおいても、「人口や財政規模に合わせ、必要な公共施設を適切な量に調整していく」という回答の割合が最も高い。その割合については、特に「1~5」「6~10」「11~15」施設の各利用者間で、8割弱と高くなっている。

利用度 (利用施設数)	取組みの方向性					不明	合計
	公共施設の規模を大きくしたり、新しいものを増やしていく	今ある公共施設をそのままの規模で建替えながら維持していく	人口や財政規模に合わせ、必要な公共施設を適切な量に調整していく	防災や法令上必要な公共施設のみ残り、他の施設は全て減らしていく	その他		
0	4	12	93	17	9	22	157
	2.5%	7.6%	59.2%	10.8%	5.7%	14.0%	100%
1~5	29	35	369	38	14	7	492
	5.9%	7.1%	75.0%	7.7%	2.8%	1.4%	100%
6~10	13	28	213	15	5	5	279
	4.7%	10.0%	76.3%	5.4%	1.8%	1.8%	100%
11~15	5	6	52	1	2	3	69
	7.2%	8.7%	75.4%	1.4%	2.9%	4.3%	100%
16~25	1	0	4	1	0	0	6
	16.7%	0.0%	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	100%



### ⑦公共施設マネジメントの認知

公共施設マネジメントの取組みの認知によらず、取組みの方向性に対する考え方は一致しており、「人口や財政規模に合わせ、必要な公共施設を適切な量に調整していく」という回答が70%以上を占める。

公共施設マネジメントの取組み	取組みの方向性					不明	合計
	公共施設の規模を大きくしたり、新しいものを増やしていく	今ある公共施設をそのままの規模で建替えながら維持していく	人口や財政規模に合わせ、必要な公共施設を適切な量に調整していく	防災や法令上必要な公共施設のみ残り、他の施設は全て減らしていく	その他		
知っている	7	21	157	22	11	2	220
	3.2%	9.5%	71.4%	10.0%	5.0%	0.9%	100%
知らない	45	60	572	48	19	11	755
	6.0%	7.9%	75.8%	6.4%	2.5%	1.5%	100%

#### 【全体】その他の意見

- 「公共施設の統廃合・集約化等」について…3件
- 「人口や財政規模に合わせた公共施設総量の調整」について…1件
- 「合併」による公共施設の最適化について…2件
- 「民活導入」について…1件
- 「新規整備」について…2件
- その他…7件

#### 【週1回以上施設利用者】その他の意見

- 「新規整備」について…1件
- 「集約化及び新規整備」について…1件

(3) 公共施設の適切な維持管理や建替え、新設などに際して、次のような方策により、財政負担の減や収入の確保が考えられますが、あなたはどのように考えますか。

公共施設マネジメントの推進にあたり、肯定的意見が最も多かった方策は、「統廃合や複合化により、必要なサービスを特定の施設に集約しながら、施設総量を減らしていく」であった。

比較的、どの方策に対しても肯定的な意見が示されたが、利用者や市民全体での負担増による収入確保の方策については否定的な意見が多数を占めた。

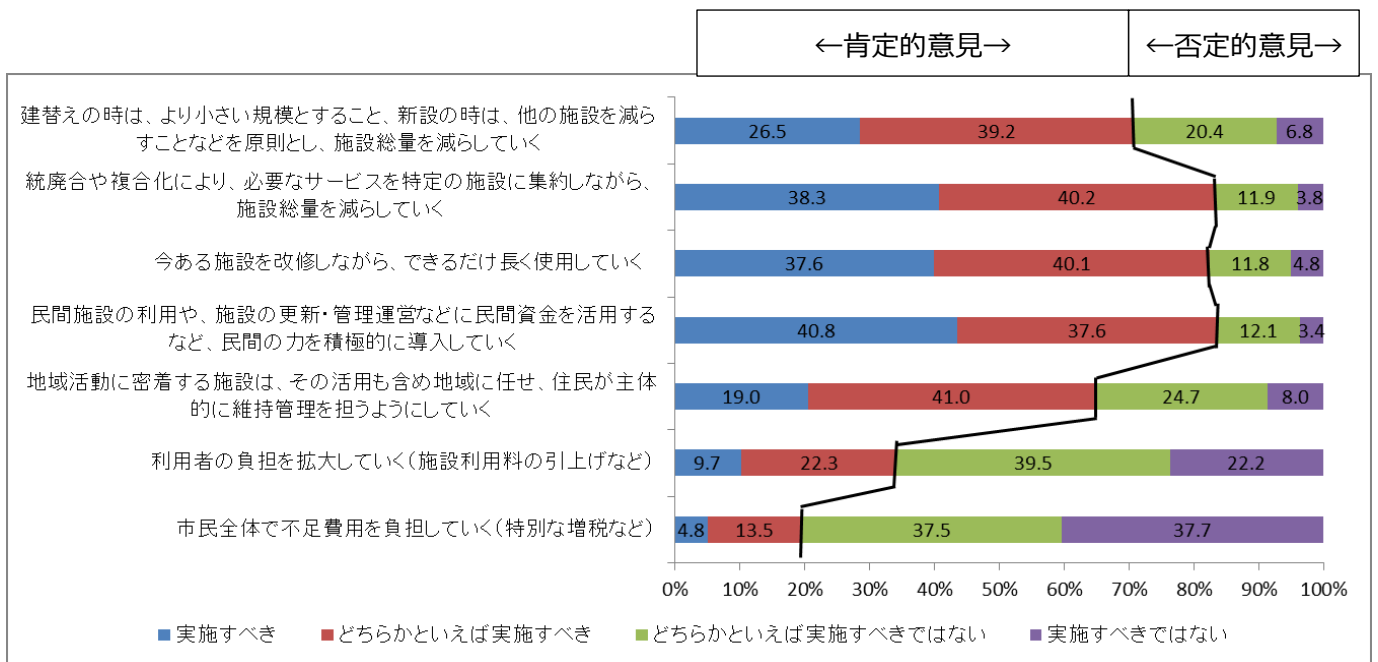
一方で、利用者の負担増加には否定的であるものの、「地域活動に密着する施設は、その活用も含め地域に任せ、住民が主体的に維持管理を担うようにしていく」という方策に対しての肯定的意見は60%と多かった。

【全体集計結果】

方策 考え	肯定的意見		否定的意見	
	実施すべき	どちらかといえ ば実施すべき	どちらかといえ ば実施すべき ではない	実施すべき ではない
①建替えの時は、より小さい規模とすること、新設の時は、他の施設を減らすことなどを原則とし、施設総量を減らしていく 【単純削減・財政負担減】	266	393	205	68
	66%		27%	
②統廃合*1 や複合化*2 により、必要なサービスを特定の施設に集約しながら、施設総量を減らしていく 【機能集約・財政負担減】	384	403	119	38
	79%		16%	
③今ある施設を改修しながら、できるだけ長く使用していく 【長寿命化・財政負担減】	377	402	118	48
	78%		17%	
④民間施設の利用や、施設の更新・管理運営などに民間資金を活用するなど、民間の力を積極的に導入していく 【民活導入・財政負担減】	409	377	121	34
	78%		16%	
⑤地域活動に密着する施設は、その活用も含め地域に任せ、住民が主体的に維持管理を担うようにしていく 【地域活用・財政負担減】	191	411	248	80
	60%		33%	
⑥利用者の負担を拡大していく (施設利用料の引上げなど) 【利用者負担増・収入確保】	97	224	396	223
	32%		62%	
⑦市民全体で不足費用を負担していく(特別な増税など) 【全体負担増・収入確保】	48	135	376	378
	18%		75%	

\*1…統廃合は、複数の施設で行っていたサービスを廃止し、1つの施設に集約して実施すること。

\*2…複合化は、異なるサービスを行う複数の施設が1施設内に同居してサービスを提供すること。(例：二丈庁舎に、図書館分館、公民館、子育てセンターが同居)



【クロス分析】 以下属性区分で実施 ①年代別 ②子育て世帯 ③校区别 ④公共施設の利用有無

⑤週1回以上施設利用者 ⑥利用施設数 ⑦公共施設マネジメント認知

方策①【単純削減・財政負担減】

概ねどの設定条件においても肯定的である。

①年代別

方策①に対しては、60代を除く、全ての年代で「どちらかといえば実施すべき」という回答割合が最も高かった。全年代を通し、「実施すべき」または「どちらかといえば実施すべき」という、取組み方策に対する肯定的な意見が半数以上であることがわかる。

年代	①建替えの時は、より小さい規模とすること、新設の時は、他の施設を減らすことなどを原則とし、施設総量を減らしていく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
20代	9 12.5%	30 41.7%	27 37.5%	2 2.8%	4 5.6%	72 100%
30代	35 26.9%	54 41.5%	27 20.8%	11 8.5%	3 2.3%	130 100%
40代	40 23.4%	83 48.5%	35 20.5%	8 4.7%	5 2.9%	171 100%
50代	55 27.8%	85 42.9%	33 16.7%	14 7.1%	11 5.6%	198 100%
60代	89 33.1%	83 30.9%	53 19.7%	20 7.4%	24 8.9%	269 100%
70代以上	38 23.5%	58 35.8%	29 17.9%	13 8.0%	24 14.8%	162 100%

## ②子育て世帯

方策①に対しては、「どちらかといえば実施すべき」という回答が最も多く、次いで「実施すべき」であった。肯定的な回答の割合合計は、約70%と高い割合である。一方で、否定的な回答の割合合計は30%弱と、他の方策に対する考え方と比較すると高い割合となっている。

	①建替えの時は、より小さい規模とすること、新設の時は、他の施設を減らすことなどを原則とし、施設総量を減らしていく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
回答数	43	84	38	13	3	181
割合	23.8%	46.4%	21.0%	7.2%	1.7%	100%

## ③校区別

方策①に対しては、概ねどの校区も肯定的（「実施すべき」または「どちらかといえば実施すべき」）である。特に、前原南校区や南風校区、深江校区で肯定的な回答の割合が高くなっている。

校区	①建替えの時は、より小さい規模とすること、新設の時は、他の施設を減らすことなどを原則とし、施設総量を減らしていく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
波多江校区	28 21.4%	60 45.8%	26 19.8%	10 7.6%	7 5.3%	131 100%
東風校区	15 25.9%	17 29.3%	18 31.0%	5 8.6%	3 5.2%	58 100%
前原校区	34 28.3%	46 38.3%	25 20.8%	13 10.8%	2 1.7%	120 100%
前原南校区	21 26.3%	35 43.8%	18 22.5%	1 1.3%	5 6.3%	80 100%
南風校区	36 32.7%	47 42.7%	15 13.6%	8 7.3%	4 3.6%	110 100%
加布里校区	27 37.5%	22 30.6%	10 13.9%	4 5.6%	9 12.5%	72 100%
長系校区	1 10.0%	4 40.0%	2 20.0%	0 0.0%	3 30.0%	10 100%
雷山校区	8 22.9%	12 34.3%	10 28.6%	1 2.9%	4 11.4%	35 100%
怡土校区	16 21.6%	32 43.2%	17 23.0%	5 6.8%	4 5.4%	74 100%
一貴山校区	9 23.7%	16 42.1%	9 23.7%	3 7.9%	1 2.6%	38 100%
深江校区	22 37.3%	23 39.0%	5 8.5%	5 8.5%	4 6.8%	59 100%
福吉校区	12 28.6%	16 38.1%	9 21.4%	1 2.4%	4 9.5%	42 100%
可也校区	21 22.3%	33 35.1%	19 20.2%	8 8.5%	13 13.8%	94 100%
桜野校区	7 35.0%	3 15.0%	6 30.0%	1 5.0%	3 15.0%	20 100%
引津校区	8 16.0%	23 46.0%	13 26.0%	3 6.0%	3 6.0%	50 100%
引津校区(姫島)	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100%

#### ④公共施設の利用有無

公共施設の利用有無によって、方策①に対する考え方に大きな差はないことがわかる。また、最も多い回答は、「どちらかといえば実施すべき」であり、肯定的な回答が6割以上を占める。

公共施設の利用	①建替えの時は、より小さい規模とすること、新設の時は、他の施設を減らすことなどを原則とし、施設総量を減らしていく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
あり	222 26.3%	332 39.3%	177 20.9%	60 7.1%	54 6.4%	845 100%
なし	44 28.0%	61 38.9%	27 17.2%	8 5.1%	17 10.8%	157 100%

#### ⑤週1回以上施設利用者

週1回以上利用する施設がある人の方策①に対する考え方は、「どちらかといえば実施すべき」という回答が最も多く、次いで「実施すべき」である。肯定的な意見の割合の合計は、70%と高い割合である。

	①建替えの時は、より小さい規模とすること、新設の時は、他の施設を減らすことなどを原則とし、施設総量を減らしていく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
回答数	40	46	19	10	7	122
割合	32.8%	37.7%	15.6%	8.2%	5.7%	100%

#### ⑥利用施設数別

方策①については、利用施設の多寡によらず、「どちらかといえば実施すべき」という回答が最も高いことがわかる。最も利用施設数が多いグループでは、「実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」という肯定的な意見の割合がそれぞれ43%ずつである。「0」「1～5」「6～10」「11～15」施設の利用者についても、概ね肯定的な意見の割合が高くなっている。

利用施設数	①建替えの時は、より小さい規模とすること、新設の時は、他の施設を減らすことなどを原則とし、施設総量を減らしていく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
0	44 28.0%	61 38.9%	27 17.2%	8 5.1%	17 10.8%	157 100%
1～5	136 27.7%	186 37.9%	102 20.8%	33 6.7%	34 6.9%	491 100%
6～10	65 23.3%	113 40.5%	67 24.0%	18 6.5%	16 5.7%	279 100%
11～15	18 26.1%	30 43.5%	8 11.6%	9 13.0%	4 5.8%	69 100%
16～25	3 42.9%	3 42.9%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	7 100%

## ⑦公共施設マネジメントの認知

公共施設マネジメントの取組みの認知によらず、方策①に対する考え方の傾向は一致しており、最も多い回答は「どちらかといえば実施すべき」であり、次いで多い回答は「実施すべき」である。方策①に対する肯定的な回答の合計は、60%以上となっている。

一方で、取組みの認知によらず、方策に否定的な考え方を示す回答の合計は、いずれも3割弱と、他の方策と比較すると高い。

公共施設マネジメントの取組み	①建替えの時は、より小さい規模とすること、新設の時は、他の施設を減らすことなどを原則とし、施設総量を減らしていく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
知っている	65 29.5%	77 35.0%	46 20.9%	19 8.6%	13 5.9%	220 100%
知らない	195 25.8%	307 40.7%	156 20.7%	47 6.2%	50 6.6%	755 100%

## 方策②【機能集約・財政負担減】

どの設定条件においても概ね肯定的であることがわかる。

特に、子育て世帯や週1回以上利用者の回答は、肯定的な意見に集中している。

### ①年代別

方策②に対しては、全ての年代で、「実施すべき」または「どちらかといえば実施すべき」という、肯定的な意見の割合が高いことがわかる。

年代	②統廃合や複合化により、必要なサービスを特定の施設に集約しながら、施設総量を減らしていく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
20代	23 31.9%	36 50.0%	6 8.3%	3 4.2%	4 5.6%	72 100%
30代	53 40.8%	56 43.1%	16 12.3%	2 1.5%	3 2.3%	130 100%
40代	73 42.7%	72 42.1%	19 11.1%	4 2.3%	3 1.8%	171 100%
50代	69 34.8%	94 47.5%	19 9.6%	10 5.1%	6 3.0%	198 100%
60代	115 42.8%	87 32.3%	33 12.3%	14 5.2%	20 7.4%	269 100%
70代以上	51 31.5%	57 35.2%	26 16.0%	5 3.1%	23 14.2%	162 100%

## ②子育て世帯

方策②に対しては、「実施すべき」という回答が最も多く、次いで「どちらかといえば実施すべき」であった。これら肯定的な回答の割合は、約87%と高い割合である。

	②統廃合や複合化により、必要なサービスを特定の施設に集約しながら、施設総量を減らしていく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
回答数	81	77	17	3	3	181
割合	44.8%	42.5%	9.4%	1.7%	1.7%	100%

## ③校区別

方策②に対しては、概ねどの校区も肯定的である。特に、波多江校区や前原校区、前原南校区や南風校区、加布里校区、一貴山校区で肯定的な回答の割合が高くなっている。

校区	②統廃合や複合化により、必要なサービスを特定の施設に集約しながら、施設総量を減らしていく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
波多江校区	44 33.6%	64 48.9%	14 10.7%	5 3.8%	4 3.1%	131 100%
東風校区	14 24.1%	30 51.7%	10 17.2%	3 5.2%	1 1.7%	58 100%
前原校区	45 37.5%	51 42.5%	12 10.0%	8 6.7%	4 3.3%	120 100%
前原南校区	31 38.8%	36 45.0%	9 11.3%	2 2.5%	2 2.5%	80 100%
南風校区	60 54.5%	40 36.4%	5 4.5%	2 1.8%	3 2.7%	110 100%
加布里校区	34 47.2%	26 36.1%	4 5.6%	2 2.8%	6 8.3%	72 100%
長糸校区	3 30.0%	4 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 30.0%	10 100%
雷山校区	11 31.4%	13 37.1%	7 20.0%	0 0.0%	4 11.4%	35 100%
怡土校区	31 41.9%	25 33.8%	11 14.9%	4 5.4%	3 4.1%	74 100%
一貴山校区	17 44.7%	15 39.5%	3 7.9%	2 5.3%	1 2.6%	38 100%
深江校区	27 45.8%	18 30.5%	6 10.2%	5 8.5%	3 5.1%	59 100%
福吉校区	9 21.4%	19 45.2%	6 14.3%	1 2.4%	7 16.7%	42 100%
可也校区	31 33.0%	33 35.1%	16 17.0%	1 1.1%	13 13.8%	94 100%
桜野校区	6 30.0%	5 25.0%	5 25.0%	3 15.0%	1 5.0%	20 100%
引津校区	17 34.0%	20 40.0%	11 22.0%	0 0.0%	2 4.0%	50 100%
引津校区(姫島)	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100%

#### ④公共施設の利用有無

公共施設の利用有無によって、方策②に対する考え方に大きな差はないことがわかる。最も多い回答は、「どちらかといえば実施すべき」である。肯定的な回答が、いずれも7割以上である。

公共施設の利用	②統廃合や複合化により、必要なサービスを特定の施設に集約しながら、施設総量を減らしていく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
あり	330 39.1%	345 40.8%	99 11.7%	30 3.6%	41 4.9%	845 100%
なし	54 34.4%	57 36.3%	20 12.7%	8 5.1%	18 11.5%	157 100%

#### ⑤週1回以上施設利用者

週1回以上利用する施設がある人の方策②に対する考え方は、「実施すべき」という回答が最も多く、次いで「どちらかといえば実施すべき」である。肯定的な意見の割合は、86%と高い割合である。

	②統廃合や複合化により、必要なサービスを特定の施設に集約しながら、施設総量を減らしていく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
回答数	55	50	11	3	3	122
割合	45.1%	41.0%	9.0%	2.5%	2.5%	100%



## ⑥利用施設数別

方策②については、利用施設数の多寡によらず、肯定的な意見に対する回答が多いことがわかる。利用施設数が0施設、6～10施設、16～25施設のグループでは「どちらかといえば実施すべき」という回答が最も多く、利用施設数が1～5施設、11～15施設のグループでは、「実施すべき」という回答が最も多い。また、最も利用施設数が多いグループは、サンプル数が少ないものの、方策に対して否定的な意見を有する回答者がいないことがわかる。

利用施設数	②統廃合や複合化により、必要なサービスを特定の施設に集約しながら、施設総量を減らしていく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
0	54 34.4%	57 36.3%	20 12.7%	8 5.1%	18 11.5%	157 100%
1～5	198 40.3%	190 38.7%	59 12.0%	14 2.9%	30 6.1%	491 100%
6～10	100 35.8%	127 45.5%	29 10.4%	14 5.0%	9 3.2%	279 100%
11～15	29 42.0%	25 36.2%	11 15.9%	2 2.9%	2 2.9%	69 100%
16～25	3 42.9%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100%

※公共施設については、比較的使用頻度が高い糸島市役所を除く25施設を対象に分析

## ⑦公共施設マネジメントの認知

公共施設マネジメントの取組みの認知によらず、方策②に対する考え方は肯定的であり、「どちらかといえば実施すべき」と「実施すべき」という回答の合計は、いずれの場合も80%程度と、高い割合となっている（知っている：約83%、知らない：約78%）。

公共施設マネジメントの取組み	②統廃合や複合化により、必要なサービスを特定の施設に集約しながら、施設総量を減らしていく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
知っている	90 40.9%	93 42.3%	19 8.6%	7 3.2%	11 5.0%	220 100%
知らない	283 37.5%	307 40.7%	96 12.7%	28 3.7%	41 5.4%	755 100%

### 方策③【長寿命化・財政負担減】

どの設定条件においても概ね肯定的であることがわかる。

特に、利用度施設数が多いグループでは、方策に対する肯定的な意見の割合が高い

#### ①年代別

全ての年代で、「実施すべき」または「どちらかといえば実施すべき」という、取組み方策に対する肯定的な回答（「実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」）が70%以上であることがわかる。

年代	③今ある施設を改修しながら、できるだけ長く使用していく					合計
	実施すべき	どちらかといえ ば実施すべき	どちらかといえ ば実施す べき ではない	実施すべきで はない	無回答	
20代	25 34.7%	32 44.4%	9 12.5%	3 4.2%	3 4.2%	72 100%
30代	49 37.7%	52 40.0%	19 14.6%	8 6.2%	2 1.5%	130 100%
40代	51 29.8%	87 50.9%	18 10.5%	10 5.8%	5 2.9%	171 100%
50代	63 31.8%	83 41.9%	34 17.2%	10 5.1%	8 4.0%	198 100%
60代	124 46.1%	85 31.6%	26 9.7%	12 4.5%	22 8.2%	269 100%
70代 以上	65 40%	62 38.3%	12 7.4%	5 3.1%	18 11.1%	162 100%

#### ②子育て世帯

「どちらかといえば実施すべき」という回答が最も多く、次いで「実施すべき」であった。これら肯定的な回答（「実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」）の合計は、約78%と高い割合である。

	③今ある施設を改修しながら、できるだけ長く使用していく					合計
	実施すべき	どちらかとい えば実施す べき	どちらかとい えば実施す べき ではない	実施すべきで はない	無回答	
回答数	56	86	25	8	6	181
割合	30.9%	47.5%	13.8%	4.4%	3.3%	100%

### ③校区别

方策③に対しては、概ねどの校区も肯定的である。特に、雷山校区や怡土校区、一貴山校区、引津校区で肯定的な回答（「実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」）の合計が高くなっている。

校区	③今ある施設を改修しながら、できるだけ長く使用していく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
波多江校区	45 34.4%	56 42.7%	18 13.7%	7 5.3%	5 3.8%	131 100%
東風校区	17 29.3%	30 51.7%	5 8.6%	3 5.2%	3 5.2%	58 100%
前原校区	49 40.8%	41 34.2%	17 14.2%	8 6.7%	5 4.2%	120 100%
前原南校区	36 45.0%	27 33.8%	8 10.0%	6 7.5%	3 3.8%	80 100%
南風校区	35 31.8%	47 42.7%	20 18.2%	3 2.7%	5 4.5%	110 100%
加布里校区	24 33.3%	30 41.7%	9 12.5%	2 2.8%	7 9.7%	72 100%
長系校区	4 40.0%	2 20.0%	2 20.0%	0 0.0%	2 20.0%	10 100%
雷山校区	14 40.0%	17 48.6%	1 2.9%	1 2.9%	2 5.7%	35 100%
怡土校区	29 39.2%	35 47.3%	2 2.7%	5 6.8%	3 4.1%	74 100%
一貴山校区	19 50.0%	15 39.5%	2 5.3%	1 2.6%	1 2.6%	38 100%
深江校区	26 44.1%	19 32.2%	10 16.9%	2 3.4%	2 3.4%	59 100%
福吉校区	18 42.9%	15 35.7%	3 7.1%	1 2.4%	5 11.9%	42 100%
可也校区	30 31.9%	36 38.3%	16 17.0%	3 3.2%	9 9.6%	94 100%
桜野校区	10 50.0%	4 20.0%	2 10.0%	2 10.0%	2 10.0%	20 100%
引津校区	19 38.0%	24 48.0%	3 6.0%	2 4.0%	2 4.0%	50 100%
引津校区(姫島)	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	4 100%

#### ④公共施設の利用有無

方策③に対する、公共施設の利用があると答えたグループのうち、最も割合が大きい回答は「どちらかといえば実施すべき」である。一方、公共施設の利用がないグループのうち、最も割合が大きい回答は「実施すべきである」となっている。ただし、公共施設の利用有無にかかわらず、概ね肯定的であり、同様の傾向が見られる。

公共施設の利用	③今ある施設を改修しながら、できるだけ長く使用していく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
あり	314 37.2%	349 41.3%	98 11.6%	42 5.0%	42 5.0%	845 100%
なし	63 40.1%	52 33.1%	20 12.7%	6 3.8%	16 10.2%	157 100%

#### ⑤週1回以上施設利用者

週1回以上利用する施設がある人の方策③に対する考え方は、「実施すべき」という回答が最も多く、次いで「どちらかといえば実施すべき」である。肯定的な意見（「実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」）の割合の合計は、約74%と高い割合である。

	③今ある施設を改修しながら、できるだけ長く使用していく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
回答数	46	44	19	8	5	122
割合	37.7%	36.1%	15.6%	6.6%	4.1%	100%

## ⑥利用施設数別

利用施設数の多寡によらず、肯定的な意見に対する回答が多いことがわかる。利用施設数が集中する1～5、6～10施設の2グループは、肯定的な意見の合計割合がいずれも約80%と高い割合になっている。また、最も利用施設数が多いグループは、「実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」という回答が最も高くなっている（約86%）。

利用施設数	③今ある施設を改修しながら、できるだけ長く使用していく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
0	63 40.1%	52 33.1%	20 12.7%	6 3.8%	16 10.2%	157 100%
1～5	178 36.3%	205 41.8%	54 11.0%	27 5.5%	27 5.5%	491 100%
6～10	113 40.5%	111 39.8%	33 11.8%	11 3.9%	11 3.9%	279 100%
11～15	19 27.5%	32 46.4%	10 14.5%	4 5.8%	4 5.8%	69 100%
16～25	4 57.1%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	7 100%

※公共施設については、比較的利用頻度が高い糸島市役所を除く25施設を対象に分析

## ⑦公共施設マネジメントの認知

公共施設マネジメントの取組みの認知によらず、方策③に対する考え方の傾向は一致しており、最も多い回答は「どちらかといえば実施すべき」であり、次いで多い回答は「実施すべき」である。方策③に対する肯定的な回答（「実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」）の合計は、いずれも80%弱となっている（知っている：約77%、知らない：79%）。

公共施設マネジメントの取組み	③今ある施設を改修しながら、できるだけ長く使用していく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
知っている	81 36.8%	88 40.0%	27 12.3%	13 5.9%	11 5.0%	220 100%
知らない	284 37.6%	309 40.9%	88 11.7%	34 4.5%	40 5.3%	755 100%

#### 方策④【民活導入・財政負担減】

どの設定条件においても概ね肯定的であることがわかる。

特に、週1回以上施設利用者の回答は、肯定的な回答の割合が高くなっている。

##### ①年代別

20代、30代を除くすべての年代で「実施すべき」という回答が最も多い。また、全ての年代で、「実施すべき」または「どちらかといえば実施すべき」という、取組み方策に対する肯定的な回答が70%以上であることがわかる。

年代	④民間施設の利用や、施設の更新・管理運営などに民間賃金を活用するなど、民間の力を積極的に導入していく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
20代	24 33.3%	29 40.3%	13 18.1%	2 2.8%	4 5.6%	72 100%
30代	48 36.9%	50 38.5%	25 19.2%	4 3.1%	3 2.3%	130 100%
40代	71 41.5%	70 40.9%	19 11.1%	7 4.1%	4 2.3%	171 100%
50代	90 45.5%	75 37.9%	21 10.6%	6 3.0%	6 3.0%	198 100%
60代	116 43.1%	96 35.7%	29 10.8%	7 2.6%	21 7.8%	269 100%
70代以上	60 37.0%	57 35.2%	13 8.0%	8 4.9%	24 14.8%	162 100%

##### ②子育て世帯

方策④に対しては、「どちらかといえば実施すべき」という回答が最も多く、次いで「実施すべき」であった。これら肯定的な回答（「実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」）の合計は、約79%と高い割合である。

	④民間施設の利用や、施設の更新・管理運営などに民間賃金を活用するなど、民間の力を積極的に導入していく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
回答数	64	79	30	5	3	181
割合	35.4%	43.6%	16.6%	2.8%	1.7%	100%

### ③校区別

概ねどの校区も肯定的である。特に、波多江校区や前原南校区、南風校区、加布里校区、雷山校区、福吉校区、桜野校区で肯定的な回答（「実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」）の合計が高くなっている。

校区	④民間施設の利用や、施設の更新・管理運営などに民間資金を活用するなど、民間の力を積極的に導入していく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
波多江校区	48 36.6%	57 43.5%	15 11.5%	7 5.3%	4 3.1%	131 100%
東風校区	25 43.1%	18 31.0%	10 17.2%	2 3.4%	3 5.2%	58 100%
前原校区	44 36.7%	50 41.7%	16 13.3%	7 5.8%	3 2.5%	120 100%
前原南校区	29 36.3%	35 43.8%	10 12.5%	3 3.8%	3 3.8%	80 100%
南風校区	52 47.3%	38 34.5%	15 13.6%	3 2.7%	2 1.8%	110 100%
加布里校区	28 38.9%	30 41.7%	7 9.7%	0 0.0%	7 9.7%	72 100%
長糸校区	4 40.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%	4 40.0%	10 100%
雷山校区	11 31.4%	17 48.6%	4 11.4%	0 0.0%	3 8.6%	35 100%
怡土校区	33 44.6%	25 33.8%	11 14.9%	2 2.7%	3 4.1%	74 100%
一貴山校区	19 50.0%	11 28.9%	5 13.2%	1 2.6%	2 5.3%	38 100%
深江校区	27 45.8%	20 33.9%	7 11.9%	3 5.1%	2 3.4%	59 100%
福吉校区	20 47.6%	14 33.3%	2 4.8%	0 0.0%	6 14.3%	42 100%
可也校区	38 40.4%	32 34.0%	9 9.6%	3 3.2%	12 12.8%	94 100%
桜野校区	10 50.0%	7 35.0%	1 5.0%	0 0.0%	2 10.0%	20 100%
引津校区	19 38.0%	19 38.0%	6 12.0%	2 4.0%	4 8.0%	50 100%
引津校区(姫島)	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100%

#### ④公共施設の利用有無

公共施設の利用有無によって、方策④に対する考え方に大きな差はないことがわかる。最も多い回答は、「実施すべき」であり、いずれも肯定的な回答（「実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」）が約8割を占めている。

公共施設の利用	④民間施設の利用や、施設の更新・管理運営などに民間資金を活用するなど、民間の力を積極的に導入していく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
あり	349 41.3%	321 38.0%	104 12.3%	26 3.1%	45 5.3%	845 100%
なし	60 38.2%	56 35.7%	16 10.2%	8 5.1%	17 10.8%	157 100%

#### ⑤週1回以上施設利用者

「実施すべき」という回答が最も多く、次いで「どちらかといえば実施すべき」である。肯定的な回答（「実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」）の合計は、約88%と高い割合である。

	④民間施設の利用や、施設の更新・管理運営などに民間資金を活用するなど、民間の力を積極的に導入していく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
回答数	60	47	11	0	4	122
割合	49.2%	38.5%	9.0%	0.0%	3.3%	100%

#### ⑥利用施設数別

利用施設数の多寡によらず、回答の傾向に大きな差はない。「実施すべき」という回答が最も多く、次いで「どちらかといえば実施すべき」となっており、肯定的な回答が多いことがわかる。

利用施設数	④民間施設の利用や、施設の更新・管理運営などに民間資金を活用するなど、民間の力を積極的に導入していく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
0	60 38.2%	56 35.7%	16 10.2%	8 5.1%	17 10.8%	157 100%
1~5	202 41.1%	188 38.3%	55 11.2%	12 2.4%	34 6.9%	491 100%
6~10	116 41.6%	104 37.3%	38 13.6%	13 4.7%	8 2.9%	279 100%
11~15	28 40.6%	27 39.1%	10 14.5%	1 1.4%	3 4.3%	69 100%
16~25	3 42.9%	2 28.6%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	7 100%



## ⑦公共施設マネジメントの認知

公共施設マネジメントの取組みの認知によらず、方策④に対する考え方の傾向は一致しており、最も多い回答は「実施すべき」であり、次いで多い回答は「どちらかといえば実施すべき」である。方策④に対する肯定的な回答（「実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」）の合計は、いずれも80%程度となっている（知っている：80%、知らない：78%）

公共施設マネジメントの取組み	④民間施設の利用や、施設の更新・管理運営などに民間賃金を活用するなど、民間の力を積極的に導入していく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
知っている	96 43.6%	80 36.4%	24 10.9%	7 3.2%	13 5.9%	220 100%
知らない	302 40.0%	288 38.1%	96 12.7%	27 3.6%	42 5.6%	755 100%

## 方策⑤【地域活用・財政負担減】

肯定的な回答（「実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」）の割合の方が高いものの、一方で「どちらかといえば実施すべきではない」という否定的な回答も比較的多く選択されていることがわかる。

### ①年代別

どの各年代においても、「どちらかといえば実施すべき」という回答が最も多かった。他の方策では、2番目に多い回答はどの年代でも概ね「実施すべき」であるが、方策⑤では、20代、30代、40代、50代で「どちらかといえば実施すべきではない」と回答した人の割合が多いことがわかる。

年代	⑤地域活動に密着する施設は、その活用も含め地域に任せ、住民が主体的に維持管理を担うようにしていく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
20代	8 11.1%	35 48.6%	19 26.4%	5 6.9%	5 6.9%	72 100%
30代	21 16.2%	55 42.3%	40 30.8%	10 7.7%	4 3.1%	130 100%
40代	18 10.5%	74 43.3%	58 33.9%	16 9.4%	5 2.9%	171 100%
50代	35 17.7%	86 43.4%	44 22.2%	22 11.1%	11 5.6%	198 100%
60代	71 26.4%	101 37.5%	59 21.9%	16 5.9%	22 8.2%	269 100%
70代以上	38 23.5%	60 37.0%	28 17.3%	10 6.2%	26 16.0%	162 100%

## ②子育て世帯

「どちらかといえば実施すべき」という肯定的な回答が最も多いが、次いで多い回答は、「どちらかといえば実施すべきではない」という否定的なものであった。肯定的な回答の割合合計（約 54%）の方が、否定的な回答（「実施すべきではない」「どちらかといえば実施すべきではない」）の合計（約 45%）よりも 10%程度高い。

	⑤地域活動に密着する施設は、その活用も含め地域に任せ、住民が主体的に維持管理を担うようにしていく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
回答数	21	77	63	16	4	181
割合	11.6%	42.5%	34.8%	8.8%	2.2%	100%

### ③校区別

概ねどの校区も「どちらかといえば実施すべきである」という回答が最も多く、他の肯定的と評価されている方策ほどではないが、比較的肯定的である。特に、前原南校区や雷山校区、怡土校区、福吉校区、可也校区で肯定的な回答（「実施すべき」「どちらかといえば実施すべきではない」）の合計が高くなっている。加布里校区は、肯定的な回答（「実施すべき」「どちらかといえば実施すべきではない」）と否定的な回答（「実施すべきではない」「どちらかといえば実施すべきではない」）の割合は同程度であった。

校区	⑤地域活動に密着する施設は、その活用も含め地域に任せ、住民が主体的に維持管理を担うようにしていく					総計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
波多江校区	22 16.8%	63 48.1%	29 22.1%	11 8.4%	6 4.6%	131 100%
東風校区	11 19.0%	24 41.4%	18 31.0%	2 3.4%	3 5.2%	58 100.0%
前原校区	26 21.7%	45 37.5%	35 29.2%	10 8.3%	4 3.3%	120 100%
前原南校区	14 17.5%	39 48.8%	19 23.8%	5 6.3%	3 3.8%	80 100%
南風校区	19 17.3%	49 44.5%	30 27.3%	8 7.3%	4 3.6%	110 100.0%
加布里校区	15 20.8%	21 29.2%	21 29.2%	7 9.7%	8 11.1%	72 100%
長糸校区	2 20.0%	2 20.0%	3 30.0%	0 0.0%	3 30.0%	10 100%
雷山校区	8 22.9%	16 45.7%	7 20.0%	0 0.0%	4 11.4%	35 100%
怡土校区	18 24.3%	33 44.6%	13 17.6%	6 8.1%	4 5.4%	74 100%
一貴山校区	9 23.7%	14 36.8%	11 28.9%	3 7.9%	1 2.6%	38 100%
深江校区	10 16.9%	22 37.3%	17 28.8%	8 13.6%	2 3.4%	59 100%
福吉校区	10 23.8%	22 52.4%	3 7.1%	0 0.0%	7 16.7%	42 100%
可也校区	14 14.9%	34 36.2%	18 19.1%	13 13.8%	15 16.0%	94 100%
桜野校区	5 25.0%	7 35.0%	3 15.0%	3 15.0%	2 10.0%	20 100%
引津校区	8 16.0%	18 36.0%	16 32.0%	3 6.0%	5 10.0%	50 100%
引津校区(姫島)	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100%

#### ④公共施設の利用有無

公共施設の利用有無によって、方策⑤に対する考え方に大きな差はないことがわかる。最も多い回答は、「どちらかといえば実施すべき」である。次いで多い回答には、両者でばらつきがみられ、公共施設の利用が有ると回答したグループは「どちらかといえば実施すべきではない」という回答が多く、反対に公共施設の利用がないグループは「実施すべき」と「どちらかといえば実施すべきではない」が同程度の割合で選択された。

公共施設の利用	⑤地域活動に密着する施設は、その活用も含め地域に任せ、住民が主体的に維持管理を担うようにしていく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
あり	164 19.4%	343 40.6%	221 26.2%	63 7.5%	54 6.4%	845 100%
なし	27 17.2%	68 43.3%	27 17.2%	16 10.2%	19 12.1%	157 100%

#### ⑤週1回以上施設利用者

「どちらかといえば実施すべきではない」という回答と「実施すべきではない」という否定的な回答の割合がいずれも約37%で、合計約73%と高い割合である。

他の設定条件では、方策⑤に対する考え方は、比較的肯定的な結果が示されたものの、週1回以上利用する市民にとっては負担と感ずる割合が大きいことがわかる。

	⑤地域活動に密着する施設は、その活用も含め地域に任せ、住民が主体的に維持管理を担うようにしていく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
回答数	11	17	45	45	4	122
割合	9.0%	13.9%	36.9%	36.9%	3.3%	100%

## ⑥利用施設数別

利用施設数が最も多いグループを除き、「どちらかといえば実施すべき」という回答が多いことがわかる。しかしながら、利用施設数が「1～5」「5～10」「11～15」施設の2番目に多い回答は「どちらかといえば実施すべきではない」という否定的な回答であり、利用施設数が最も多い（16～25施設）グループが方策に対し肯定的であるのに対し、回答の傾向が異なっていることがわかる。

利用施設数	⑤地域活動に密着する施設は、その活用も含め地域に任せ、住民が主体的に維持管理を担うようにしていく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
0	27 17.2%	68 43.3%	27 17.2%	16 10.2%	19 12.1%	157 100%
1～5	88 17.9%	207 42.2%	121 24.6%	37 7.5%	38 7.7%	491 100%
6～10	59 21.1%	112 40.1%	78 28.0%	18 6.5%	12 4.3%	279 100%
11～15	14 20.3%	22 31.9%	21 30.4%	8 11.6%	4 5.8%	69 100%
16～25	3 42.9%	2 28.6%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	7 100%

## ⑦公共施設マネジメントの認知

公共施設マネジメントの取組みの認知によらず、方策⑤に対して最も多い回答は「どちらかといえば実施すべき」である。方策⑤に対する肯定的な回答の合計は、いずれも60%程度となっている（知っている：63%、知らない：59%）。

一方で、取組みの認知によらず、否定的な回答の合計は、いずれも30%程度（知っている：30%、知らない：34%）となっている。

公共施設マネジメントの取組み	⑤地域活動に密着する施設は、その活用も含め地域に任せ、住民が主体的に維持管理を担うようにしていく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
知っている	54 24.5%	85 38.6%	49 22.3%	17 7.7%	15 6.8%	220 100%
知らない	133 17.6%	315 41.7%	195 25.8%	62 8.2%	50 6.6%	755 100%

## 方策⑥【利用者負担増・収入確保】

どの設定条件においても概ね否定的である。

### ①年代別

どの設定条件においても概ね否定的であることがわかる。

年代	⑥利用者の負担を拡大していく(施設利用料の引上げなど)					合計
	実施すべき	どちらかといえ ば実施すべき	どちらかといえ ば実施すべき ではない	実施すべきで はない	無回答	
20代	3 4.2%	15 20.8%	33 45.8%	17 23.6%	4 5.6%	72 100%
30代	17 13.1%	21 16.2%	59 45.4%	30 23.1%	3 2.3%	130 100%
40代	14 8.2%	52 30.4%	66 38.6%	33 19.3%	6 3.5%	171 100%
50代	13 6.6%	41 20.7%	94 47.5%	43 21.7%	7 3.5%	198 100%
60代	31 11.5%	54 20.1%	93 34.6%	72 26.8%	19 7.1%	269 100%
70代 以上	19 11.7%	41 25.3%	50 30.9%	28 17.3%	24 14.8%	162 100%

### ②子育て世帯

「どちらかといえれば実施すべきではない」という否定的な回答が最も多いが、次いで多い回答は、「どちらかといえれば実施すべき」という肯定的なものであった。しかしながら、方策⑤と異なり、肯定的な回答の合計が33%であるのに対し、否定的な回答の合計は65%とその差は大きく、方策に対する否定的な回答の割合が高い。

	⑥利用者の負担を拡大していく (施設利用料の引上げなど)					合計
	実施すべき	どちらかとい えれば実施す べき	どちらかとい えれば実施す べきではない	実施すべきで はない	無回答	
回答数	16	44	77	40	4	181
割合	8.8%	24.3%	42.5%	22.1%	2.2%	100%

### ③校区別

概ねどの校区も「どちらかといえば実施すべきではない」という回答が最も多く、否定的である。特に、東風校区や加布里校区、怡土校区、可也校区、引津校区で否定的な回答の割合合計が高くなっている。波多江校区では、「実施すべきではない」、「どちらかといえば実施すべきではない」、「どちらかといえば実施すべきである」の3項目が同程度の割合で存在している。

校区	⑥利用者の負担を拡大していく(施設利用料の引上げなど)				
	実施すべき	どちらかといえ ば実施すべき	どちらかといえ ば実施すべき ではない	実施すべきで はない	無回答
波多江校区	9 6.9%	38 29.0%	40 30.5%	37 28.2%	7 5.3%
東風校区	6 10.3%	10 17.2%	33 56.9%	6 10.3%	3 5.2%
前原校区	16 13.3%	27 22.5%	46 38.3%	28 23.3%	3 2.5%
前原南校区	10 12.5%	20 25.0%	33 41.3%	14 17.5%	3 3.8%
南風校区	14 12.7%	21 19.1%	45 40.9%	27 24.5%	3 2.7%
加布里校区	7 9.7%	13 18.1%	28 38.9%	18 25.0%	6 8.3%
長糸校区	0 0.0%	1 10.0%	5 50.0%	1 10.0%	3 30.0%
雷山校区	3 8.6%	9 25.7%	14 40.0%	6 17.1%	3 8.6%
怡土校区	3 4.1%	17 23.0%	33 44.6%	18 24.3%	3 4.1%
一貴山校区	4 10.5%	9 23.7%	16 42.1%	9 23.7%	0 0.0%
深江校区	8 13.6%	15 25.4%	21 35.6%	13 22.0%	2 3.4%
福吉校区	4 9.5%	9 21.4%	17 40.5%	6 14.3%	6 14.3%
可也校区	10 10.6%	17 18.1%	35 37.2%	19 20.2%	13 13.8%
桜野校区	2 10.0%	5 25.0%	5 25.0%	6 30.0%	2 10.0%
引津校区	1 2.0%	12 24.0%	20 40.0%	13 26.0%	4 8.0%
引津校区(姫島)	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%

#### ④公共施設の利用有無

公共施設の利用有無によって、方策⑥に対する考え方に大きな差はないことがわかる。最も多い回答は、「どちらかといえば実施すべきではない」である。公共施設の利用の有無にかかわらず、「実施すべき」もしくは「どちらかといえば実施すべき」と、肯定的な回答をした人の割合の合計は同程度であった（利用有：約32%、利用無：約31%）。

公共施設の利用	⑥利用者の負担を拡大していく(施設利用料の引上げなど)					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
あり	79 9.3%	194 23.0%	339 40.1%	188 22.2%	45 5.3%	845 100%
なし	18 11.5%	30 19.1%	56 35.7%	35 22.3%	18 11.5%	157 100%

#### ⑤週1回以上施設利用者

「どちらかといえば実施すべきではない」という回答の割合が最も高い。次いで、「実施すべきではない」という回答割合が高く、これらを合わせた否定的な回答の合計は約66%である。

一方で、方策⑥に対する肯定的な意見は、約30%となっており、反する意見の割合としては、他の方策と比べ、高い。

	⑥利用者の負担を拡大していく(施設利用料の引上げなど)					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
回答数	12	25	49	31	5	122
割合	9.8%	20.5%	40.2%	25.4%	4.1%	100%



## ⑥利用施設数別

利用施設数の多寡によらず、「どちらかといえば実施すべきではない」という回答の割合が最も高い。また、「実施すべきではない」もしくは「どちらかといえば実施すべきではない」という否定的な回答の割合が、いずれの利用施設数のグループにおいても半数以上を占めている。ただし、利用施設数が比較的多い11～15施設のグループでは、「どちらかといえば実施すべき」という肯定的な回答の割合が約32%となっており、他と比較して高くなっている。

利用施設数	⑥利用者の負担を拡大していく(施設利用料の引上げなど)					合計
	実施すべき	どちらかといえ ば実施すべき	どちらかといえ ば実施すべき ではない	実施すべきで はない	無回答	
0	18 11.5%	30 19.1%	56 35.7%	35 22.3%	18 11.5%	157 100%
1～5	48 9.8%	115 23.4%	193 39.3%	102 20.8%	33 6.7%	491 100%
6～10	24 8.6%	57 20.4%	119 42.7%	70 25.1%	9 3.2%	279 100%
11～15	6 8.7%	22 31.9%	23 33.3%	15 21.7%	3 4.3%	69 100%
16～25	1 14.3%	0 0.0%	5 71.4%	1 14.3%	0 0.0%	7 100%

## ⑦公共施設マネジメントの認知

公共施設マネジメントの取組みの認知によらず、方策⑥に対しては「どちらかといえば実施すべきではない」という回答割合が最も高い。次いで多い回答については、取組みの認知によって異なっており、取組みを知っているグループでは「どちらかといえば実施すべき」が多くなっており、知らないグループの回答は「実施すべきではない」が多くなっている。

いずれも、否定的な回答の合計は60%前後となっている(知っている:約57%、知らない:64%)。

公共施設マネジ メントの取組み	⑥利用者の負担を拡大していく(施設利用料の引上げなど)					合計
	実施すべき	どちらかといえ ば実施すべき	どちらかといえ ば実施すべき ではない	実施すべきで はない	無回答	
知っている	23 10.5%	59 26.8%	80 36.4%	46 20.9%	12 5.5%	220 100%
知らない	72 9.5%	158 20.9%	307 40.7%	174 23.0%	44 5.8%	755 100%

## 方策⑦【全体負担増・収入確保】

どの設定条件においても概ね否定的であることがわかる。

特に、子育て世帯でその傾向は強い。

### ①年代別

30代、40代、50代、70代以上で、「どちらかといえば実施すべきではない」という回答が最も多かった。また、全ての年代で、「実施すべきではない」または「どちらかといえば実施すべきではない」という、取組み方策に対する否定的な回答が多くみられた（60代、70代以上を除くすべての年代で否定的な回答は80%以上。60代、70代以上の同意見の割合は60%以上）。

年代	⑦市民全体で不足費用を負担していく(特別な増税など)					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
20代	1 1.4%	8 11.1%	27 37.5%	31 43.1%	5 6.9%	72 100%
30代	6 4.6%	12 9.2%	55 42.3%	54 41.5%	3 2.3%	130 100%
40代	6 3.5%	21 12.3%	73 42.7%	65 38.0%	6 3.5%	171 100%
50代	10 5.1%	19 9.6%	90 45.5%	71 35.9%	8 4.0%	198 100%
60代	18 6.7%	44 16.4%	75 27.9%	113 42.0%	19 7.1%	269 100%
70代以上	7 4.3%	31 19.1%	56 34.6%	43 26.5%	25 15.4%	162 100%

### ②子育て世帯

「実施すべきではない」および「どちらかといえば実施すべきではない」という否定的な回答の割合がそれぞれ約41%で、合計約83%と高い割合である。

	⑦市民全体で不足費用を負担していく(特別な増税など)					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
回答数	8	20	75	75	3	181
割合	4.4%	11.0%	41.4%	41.4%	1.7%	100%

### ③校区別

概ねどの校区も「どちらかといえば実施すべきではない」という回答が最も多く、次いで「実施すべきではない」と回答されており、全体的に方策に対して否定的である。特に、東風校区や前原校区、南風校区、可也校区で否定的な回答（「実施すべきではない」「どちらかといえば実施すべきではない」）の割合が高くなっている。

校区	⑦市民全体で不足費用を負担していく(特別な増税など)					合計
	実施すべき	どちらかといえ ば実施すべき	どちらかといえ ば実施すべき ではない	実施すべきで はない	無回答	
波多江校区	9 6.9%	24 18.3%	44 33.6%	47 35.9%	7 5.3%	131 100%
東風校区	3 5.2%	5 8.6%	25 43.1%	22 37.9%	3 5.2%	58 100.0%
前原校区	4 3.3%	12 10.0%	48 40.0%	52 43.3%	4 3.3%	120 100%
前原南校区	2 2.5%	17 21.3%	30 37.5%	29 36.3%	2 2.5%	80 100%
南風校区	7 6.4%	7 6.4%	49 44.5%	44 40.0%	3 2.7%	110 100.0%
加布里校区	7 9.7%	11 15.3%	22 30.6%	26 36.1%	6 8.3%	72 100%
長系校区	0 0.0%	2 20.0%	3 30.0%	2 20.0%	3 30.0%	10 100%
雷山校区	3 8.6%	5 14.3%	14 40.0%	10 28.6%	3 8.6%	35 100%
怡土校区	1 1.4%	11 14.9%	32 43.2%	27 36.5%	3 4.1%	74 100%
一貴山校区	0 0.0%	7 18.4%	15 39.5%	16 42.1%	0 0.0%	38 100%
深江校区	3 5.1%	6 10.2%	19 32.2%	29 49.2%	2 3.4%	59 100%
福吉校区	1 2.4%	6 14.3%	17 40.5%	12 28.6%	6 14.3%	42 100%
可也校区	2 2.1%	9 9.6%	28 29.8%	40 42.6%	15 16.0%	94 100%
桜野校区	2 10.0%	2 10.0%	9 45.0%	5 25.0%	2 10.0%	20 100%
引津校区	3 6.0%	10 20.0%	18 36.0%	14 28.0%	5 10.0%	50 100%
引津校区(姫島)	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	4 100%

#### ④公共施設の利用有無

公共施設の利用有無によって、方策⑦に対する考え方に大きな差はないことがわかる。最も多い回答は、利用が有るグループでは「どちらかといえば実施すべきではない」であり、利用が無いグループでは「実施すべきではない」であった。公共施設の利用の有無にかかわらず、「実施すべきではない」もしくは「どちらかといえば実施すべきではない」と回答した割合の合計は高かった（利用有：76%、利用無：約71%）。

公共施設の利用	⑦市民全体で不足費用を負担していく(特別な増税など)					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
あり	40 4.7%	114 13.5%	323 38.2%	319 37.8%	49 5.8%	845 100%
なし	8 5.1%	21 13.4%	53 33.8%	58 36.9%	17 10.8%	157 100%

#### ⑤週1回以上施設利用者

「どちらかといえば実施すべきではない」という回答の割合が最も高い。次いで、「実施すべきではない」という回答割合が高く、否定的な回答割合の合計は約74%と高い割合である。

	⑦市民全体で不足費用を負担していく(特別な増税など)					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
回答数	9	17	49	41	6	122
割合	7.4%	13.9%	40.2%	33.6%	4.9%	100%

#### ⑥利用施設数別

利用施設数の多寡によらず、否定的な意見の割合が高い（いずれのグループにおいても70%以上）。特に、施設利用数が16~25施設と多いグループでは、「実施すべきではない」という割合が約71%と高かった。

利用施設数	⑦市民全体で不足費用を負担していく(特別な増税など)					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
0	8 5.1%	21 13.4%	53 33.8%	58 36.9%	17 10.8%	157 100%
1~5	23 4.7%	70 14.3%	175 35.6%	189 38.5%	34 6.9%	491 100%
6~10	15 5.4%	31 11.1%	111 39.8%	110 39.4%	12 4.3%	279 100%
11~15	2 2.9%	12 17.4%	36 52.2%	16 23.2%	3 4.3%	69 100%
16~25	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	5 71.4%	0 0.0%	7 100%

## ⑦公共施設マネジメント認知度

公共施設マネジメントの取組みを知らないグループでは、「実施すべきではない」という回答が40%と最も高くなっているのに対し、知っているグループでは「どちらかといえば実施すべきではない」という回答が41%となっている。いずれのグループにおいても、次いで割合が高い回答は否定的な回答となっており、方策⑦に対する考え方は否定的であることがわかる（知っている：約74%、知らない：約77%）。

公共施設マネジメントの取組み	⑦市民全体で不足費用を負担していく(特別な増税など)					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
知っている	10 4.5%	34 15.5%	91 41.4%	72 32.7%	13 5.9%	220 100%
知らない	35 4.6%	96 12.7%	276 36.6%	302 40.0%	46 6.1%	755 100%

### 【全体】その他の意見

- 「統廃合等」について…19件
- 「長寿命化」について…6件
- 「新規整備」について…3件
- 「インフラ、交通アクセス」について…7件
- 「利用者負担」について…7件
- 「複合化」について…4件
- 「取組みの進め方等全般」について…11件
- 「個別施設の改善要求」について…3件

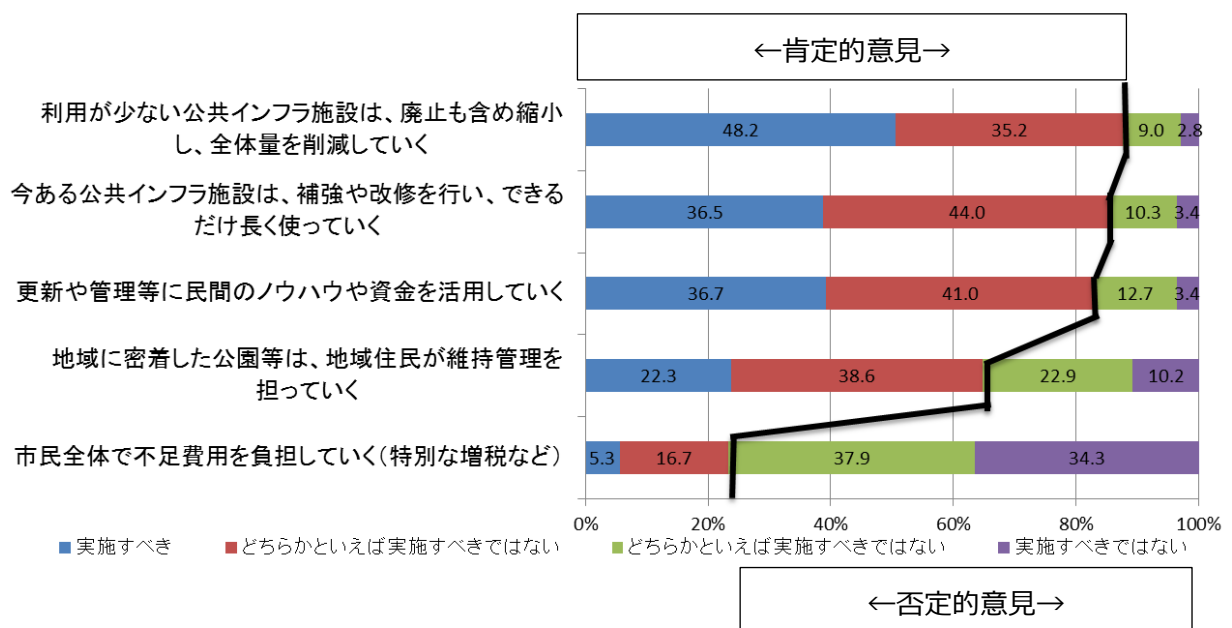
### 【週1回以上施設利用者】その他の意見

- 「個別施設の改善要求」について…3件
- 「広域連携」について…1件
- 「公共施設マネジメントの進め方」について…1件
- 「集約化」について…1件
- 「統廃合」について…2件
- 「長寿命化」について…1件
- 「料金負担」について…2件

(4) 公共インフラ施設（道路、橋りょう、公園、上下水道、漁港など）の適切な維持管理や更新に際して、次のような方策により、財政負担の減や収入の確保が考えられますが、あなたはどのように考えますか。

公共インフラ施設の適切な維持管理や更新に際しては、概ねどの方策に対しても肯定的な意見が示されている。(3) 公共施設に対する今後の取組み方策の傾向と同様に、「市民全体で不足費用を負担していく」という全体負担増の方策に対しては、否定的な意見が多く示されている。

方策 考え	肯定的意見		否定的意見	
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない
①利用が少ない公共インフラ施設は、廃止も含め縮小し、全体量を削減していく 【単純削減・財政負担減】	483	353	90	28
	83%		12%	
②今ある公共インフラ施設は、補強や改修を行い、できるだけ長く使っていく 【長寿命化・財政負担減】	366	441	103	34
	81%		14%	
③更新や管理等に民間のノウハウや資金を活用していく 【民活導入・財政負担減】	368	411	127	34
	78%		16%	
④地域に密着した公園等は、地域住民が維持管理を担っていく 【地域活用・財政負担減】	224	387	230	102
	61%		33%	
⑤市民全体で不足費用を負担していく（特別な増税など） 【全体負担増・収入確保】	53	167	380	344
	22%		72%	



## 【クロス分析】 ①年代別

年代別にみる、インフラ施設の具体方策は、単純削減、長寿命化、民活導入方策に対しては肯定的であるものの、市民や全体での不足費用の負担に対しては否定的である。これは、概ね公共施設に対する具体方策の考え方と同様である。

### ①年代別

- 方策①：20代を除くすべての年代で「実施すべき」という回答割合が最も高く、次いで「どちらかといえば実施すべき」であった。20代は「どちらかといえば実施すべき」という回答割合が最も高く、次いで「実施すべき」が多い。

年代	①利用が少ない公共インフラ施設は、廃止も含め縮小し、全 体量を削減していく					合計
	実施すべき	どちらかとい えば実施す べき	どちらかとい えば実施す べきではない	実施すべきで はない	無回答	
20代	25 34.7%	31 43.1%	9 12.5%	2 2.8%	5 6.9%	72 100%
30代	61 46.9%	48 36.9%	14 10.8%	4 3.1%	3 2.3%	130 100%
40代	82 48.0%	70 40.9%	12 7.0%	4 2.3%	3 1.8%	171 100%
50代	97 49.0%	70 35.4%	18 9.1%	6 3.0%	7 3.5%	198 100%
60代	133 49.4%	91 33.8%	24 8.9%	6 2.2%	15 5.6%	269 100%
70代 以上	85 52.5%	42 25.9%	13 8.0%	6 3.7%	16 9.9%	162 100%

- 方策②：概ね全ての年代で「どちらかといえば実施すべき」という回答割合が最も高く、次いで「実施すべき」であった。いずれの年代においても肯定的な回答割合が非常に高いことがわかる。

年代	②今ある公共インフラ施設は、補強や改修を行い、できるだけ 長く使っていく					合計
	実施すべき	どちらかとい えば実施す べき	どちらかとい えば実施す べきではない	実施すべきで はない	無回答	
20代	25 34.7%	33 45.8%	11 15.3%	0 0.0%	3 4.2%	72 100%
30代	43 33.1%	58 44.6%	18 13.8%	7 5.4%	4 3.1%	130 100%
40代	57 33.3%	91 53.2%	14 8.2%	5 2.9%	4 2.3%	171 100%
50代	73 36.9%	79 39.9%	32 16.2%	5 2.5%	9 4.5%	198 100%
60代	110 40.9%	109 40.5%	18 6.7%	13 4.8%	19 7.1%	269 100%
70代 以上	58 35.8%	70 43.2%	10 6.2%	4 2.5%	20 12.3%	162 100%

- 方策③：30代、60代で「実施すべき」が最も高い割合であったが、その他の年代では「どちらかといえば実施すべき」という回答割合が最も高かった。いずれの年代においても肯定的な回答割合が非常に高いことがわかる。一方で、30代をみると、20%程度ではあるものの、他の年代と比較すると、否定的な意見の割合が高いことがわかる。

年代	③更新や管理等に民間のノウハウや資金を活用していく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
20代	20 27.8%	40 55.6%	7 9.7%	1 1.4%	4 5.6%	72 100%
30代	50 38.5%	49 37.7%	25 19.2%	2 1.5%	4 3.1%	130 100%
40代	60 35.1%	82 48.0%	23 13.5%	2 1.2%	4 2.3%	171 100%
50代	79 39.9%	81 40.9%	27 13.6%	5 2.5%	6 3.0%	198 100%
60代	113 42.0%	97 36.1%	24 8.9%	13 4.8%	22 8.2%	269 100%
70代以上	46 28.4%	62 38.3%	20 12.3%	11 6.8%	23 14.2%	162 100%

- 方策④：全ての年代で「どちらかといえば実施すべき」という回答割合が最も高かった。一方で、2番目に多い回答については、年代で回答の傾向がわかれている。20代～50代までの各年代では、「どちらかといえば実施すべきではない」という回答割合が多くなっているが、60代以上では、「実施すべき」という回答割合が高く、方策に対してより肯定的な傾向がみられた。

年代	④地域に密着した公園等は、地域住民が維持管理を担っていく					合計
	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	
20代	14 19.4%	29 40.3%	19 26.4%	6 8.3%	4 5.6%	72 100%
30代	20 15.4%	60 46.2%	32 24.6%	13 10.0%	5 3.8%	130 100%
40代	22 12.9%	70 40.9%	52 30.4%	23 13.5%	4 2.3%	171 100%
50代	39 19.7%	88 44.4%	45 22.7%	20 10.1%	6 3.0%	198 100%
60代	82 30.5%	84 31.2%	53 19.7%	31 11.5%	19 7.1%	269 100%
70代以上	47 29.0%	55 34.0%	29 17.9%	9 5.6%	22 13.6%	162 100%



- 方策⑤：全ての年代で「どちらかといえば実施すべきではない」もしくは「実施すべきではない」という回答割合が最も高く、方策に対して否定的な傾向がみられる。

一方で、70代以上では、方策に対して肯定的な回答も約30%程度となっていることがわかる。

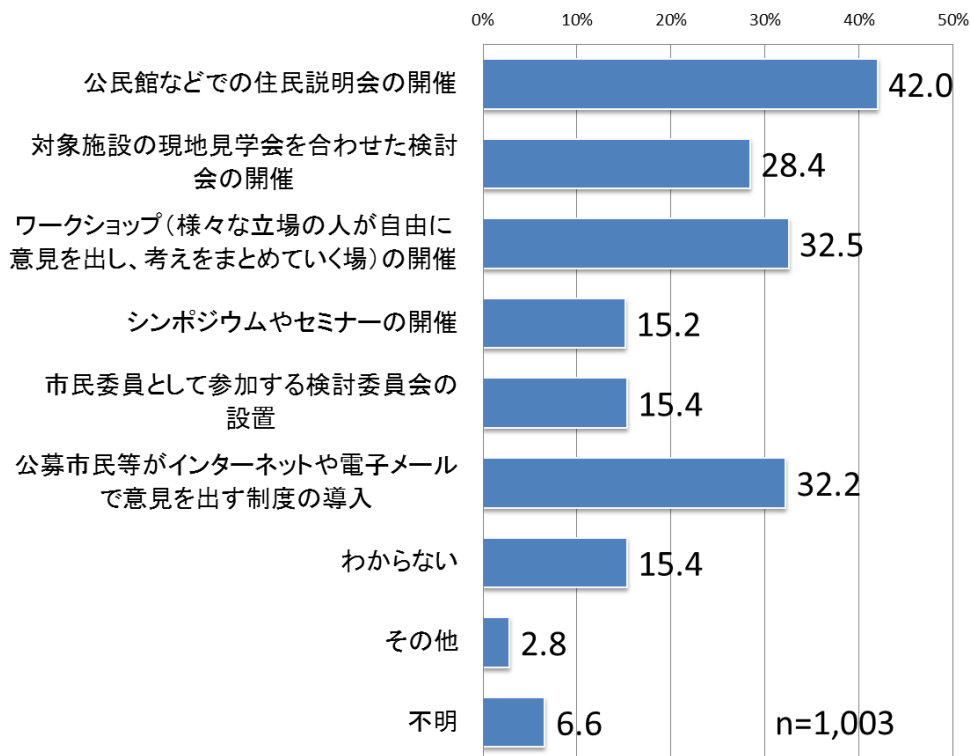
年代	⑤市民全体で不足費用を負担していく					合計
	実施すべき	どちらかとい えば実施す べき	どちらかとい えば実施す べきではない	実施すべきで はない	無回答	
20代	0 0.0%	13 18.1%	32 44.4%	23 31.9%	4 5.6%	72 100%
30代	6 4.6%	18 13.8%	51 39.2%	51 39.2%	4 3.1%	130 100%
40代	9 5.3%	26 15.2%	73 42.7%	59 34.5%	4 2.3%	171 100%
50代	9 4.5%	31 15.7%	83 41.9%	70 35.4%	5 2.5%	198 100%
60代	18 6.7%	45 16.7%	83 30.9%	104 38.7%	19 7.1%	269 100%
70代 以上	11 6.8%	34 21.0%	58 35.8%	36 22.2%	23 14.2%	162 100%

(5) 今後、個別具体的な公共施設等のあり方について、市民の皆様と問題を共有し、その適正なあり方を考えていくことが重要となります。

あなたが、その場に参加する場合、どのような方法が参加しやすいと考えますか。

(複数回答)

公共施設等のあり方について、具体的な検討を進めるにあたり、望ましい市民の皆様との情報共有の場は、「公民館などでの住民説明会の開催」という回答が42%と最も多くなった。次いで、「ワークショップの開催」や「公募市民等がインターネットや電子メールで意見を出す制度の導入」が望まれている。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 公民館などでの住民説明会の開催	421	42.0
2. 対象施設の現地見学会を合わせた検討会の開催	285	28.4
3. ワークショップ(様々な立場の人が自由に意見を出し、考えをまとめていく場)の開催	326	32.5
4. シンポジウムやセミナーの開催	152	15.2
5. 市民委員として参加する検討委員会の設置	154	15.4
6. 公募市民等がインターネットや電子メールで意見を出す制度の導入	323	32.2
7. わからない	154	15.4
8. その他	28	2.8
不明	66	6.6

【クロス分析】 以下属性区分で実施 ①年代別 ②子育て世帯 ③校区別 ④公共施設の利用有無

⑤週 1 回以上施設利用者 ⑥使用施設数 ⑦公共施設マネジメントの認知

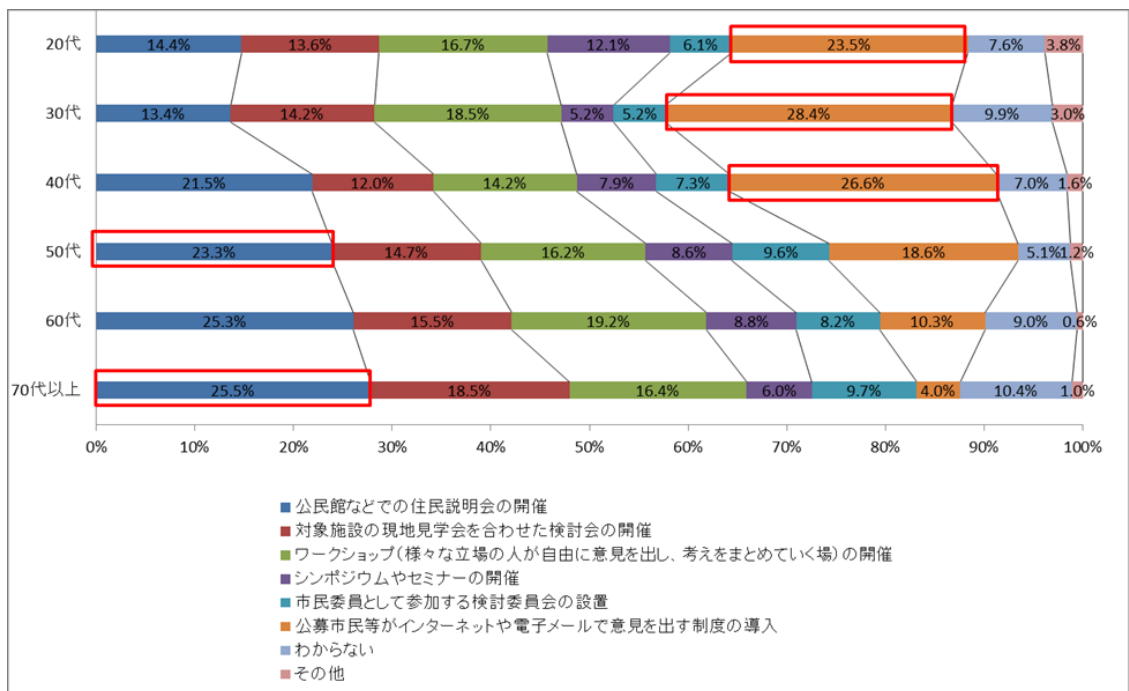
概ねどの設定条件においても「公民館などでの住民説明会の開催」が最も高い割合で選択されている。この傾向は、特に、「公共施設マネジメントの取組みを知っている」と利用施設数が比較的多い「6～10」「11～15 施設」と回答した人に多くみられた。

一方、20代～40代、及び子育て世帯では、「公募市民等がインターネットや電子メールで意見を出す制度の導入」が最も高い回答であった。

①年代別

20代、30代、40代の回答で最も多かったのは、「公募市民等がインターネットや電子メールで意見を出す制度の導入」であったのに対し、50代以上の年代では、「公民館などでの住民説明会の開催」が最も多い回答となった。

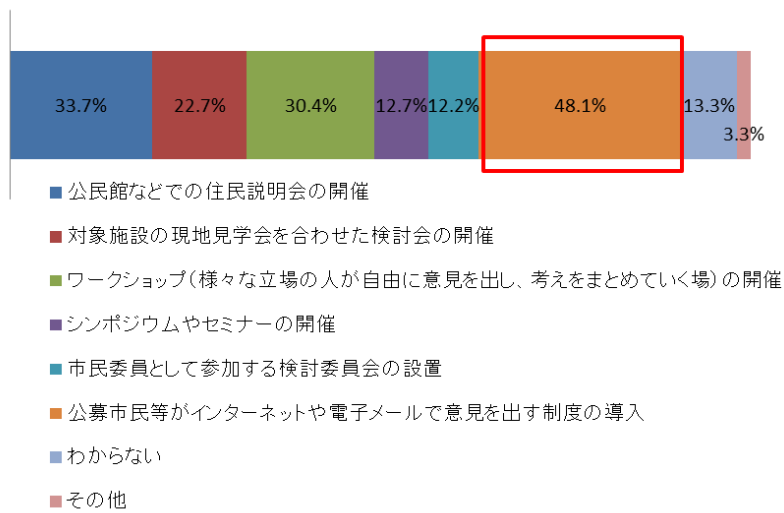
年代	取組参加の方法								
	公民館などでの住民説明会の開催	対象施設の現地見学会を合わせた検討会の開催	ワークショップ(様々な立場の人が自由に意見を出し、考えをまとめていく場)の開催	シンポジウムやセミナーの開催	市民委員として参加する検討委員会の設置	公募市民等がインターネットや電子メールで意見を出す制度の導入	わからない	その他	無回答
20代	19 14.4%	18 13.6%	22 16.7%	16 12.1%	8 6.1%	31 23.5%	10 7.6%	5 3.8%	3 2.3%
30代	31 13.4%	33 14.2%	43 18.5%	12 5.2%	12 5.2%	66 28.4%	23 9.9%	7 3.0%	5 2.2%
40代	68 21.5%	38 12.0%	45 14.2%	25 7.9%	23 7.3%	84 26.6%	22 7.0%	5 1.6%	6 1.9%
50代	95 23.3%	60 14.7%	66 16.2%	35 8.6%	39 9.6%	76 18.6%	21 5.1%	5 1.2%	11 2.7%
60代	132 25.3%	81 15.5%	100 19.2%	46 8.8%	43 8.2%	54 10.3%	47 9.0%	3 0.6%	16 3.1%
70代以上	76 25.5%	55 18.5%	49 16.4%	18 6.0%	29 9.7%	12 4.0%	31 10.4%	3 1.0%	25 8.4%



## ②子育て世帯

「公募市民等がインターネットや電子メールで意見を出す制度の導入」が最も高い割合となり、約半数を占めた。次いで、「公民館などでの住民説明会の開催」、「ワークショップの開催」がいずれも 30%程度となっている。

	取組参加の方法								
	公民館などでの住民説明会の開催	対象施設の現地見学会を合わせた検討会の開催	ワークショップ(様々な立場の人が自由に意見を出し、考えをまとめていく場)の開催	シンポジウムやセミナーの開催	市民委員として参加する検討委員会の設置	公募市民等がインターネットや電子メールで意見を出す制度の導入	わからない	その他	無回答
回答数	61	41	55	23	22	87	24	6	8
割合	33.7%	22.7%	30.4%	12.7%	12.2%	48.1%	13.3%	3.3%	4.4%



### ③校区别

いずれの校区においても、公共施設の適切なあり方検討への参加方法としては、「公民館などでの住民説明会の開催」や「ワークショップ」が高い割合で選択された。また、波多江校区や東風校区、前原校区では、他校区と比べると、「公募市民等がインターネットや電子メールで意見を出す制度の導入」と回答した人の割合が高いことがわかる。引津校区では、「シンポジウムやセミナーの開催」も高い割合で回答があった。

校区	取組参加の方法								
	公民館などでの住民説明会の開催	対象施設の現地見学会を合わせた検討会の開催	ワークショップ(様々な立場の人が自由に意見を出し、考えをまとめていく場)	シンポジウムやセミナーの開催	市民委員として参加する検討委員会の設置	公募市民等がインターネットや電子メールで意見を出す制度の導入	わからない	その他	無回答
波多江校区	51 38.9%	37 28.2%	42 32.1%	24 18.3%	11 8.4%	45 34.4%	20 15.3%	7 5.3%	6 4.6%
東風校区	21 36.2%	21 36.2%	23 39.7%	12 20.7%	12 20.7%	17 29.3%	9 15.5%	3 5.2%	2 3.4%
前原校区	48 40.0%	31 25.8%	34 28.3%	21 17.5%	21 17.5%	43 35.8%	24 20.0%	2 1.7%	4 3.3%
前原南校区	27 33.8%	17 21.3%	31 38.8%	0 0.0%	0 0.0%	6 7.5%	21 26.3%	3 3.8%	3 3.8%
南風校区	46 41.8%	38 34.5%	40 36.4%	2 1.8%	1 0.9%	17 15.5%	5 4.5%	0 0.0%	5 4.5%
加布里校区	24 33.3%	21 29.2%	24 33.3%	3 4.2%	1 1.4%	5 6.9%	6 8.3%	4 5.6%	8 11.1%
長糸校区	5 50.0%	1 10.0%	5 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	4 40.0%
雷山校区	14 40.0%	12 34.3%	8 22.9%	0 0.0%	0 0.0%	7 20.0%	3 8.6%	1 2.9%	3 8.6%
怡土校区	34 45.9%	27 36.5%	22 29.7%	0 0.0%	1 1.4%	4 5.4%	6 8.1%	2 2.7%	7 9.5%
一貴山校区	18 47.4%	14 36.8%	15 39.5%	0 0.0%	1 2.6%	2 5.3%	4 10.5%	1 2.6%	0 0.0%
深江校区	30 50.8%	17 28.8%	16 27.1%	1 1.7%	2 3.4%	6 10.2%	3 5.1%	1 1.7%	5 8.5%
福吉校区	17 40.5%	8 19.0%	12 28.6%	1 2.4%	1 2.4%	2 4.8%	7 16.7%	0 -	4 9.5%
可也校区	47 50.0%	19 20.2%	33 35.1%	0 0.0%	0 0.0%	4 4.3%	13 13.8%	0 -	8 8.5%
桜野校区	8 40.0%	3 15.0%	4 20.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%	5 25.0%	0 0.0%	3 15.0%
引津校区	27 54.0%	17 34.0%	14 28.0%	0 0.0%	1 2.0%	2 4.0%	2 4.0%	2 4.0%	3 6.0%
引津校区(姫島)	3 75.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

### ④公共施設の利用有無

公共施設の利用有無によって、取組参加方法に対する回答の傾向に大きな違いは見られない。いずれの場合も、最も多い回答は「公民館などでの住民説明会の開催」であった。

公共施設の利用	取組参加の方法								
	公民館などでの住民説明会の開催	対象施設の現地見学会を合わせた検討会の開催	ワークショップ(様々な立場の人が自由に意見を出し、考えをまとめていく場)の開催	シンポジウムやセミナーの開催	市民委員として参加する検討委員会の設置	公募市民等がインターネットや電子メールで意見を出す制度の導入	わからない	その他	無回答
あり	366 43.3%	247 29.2%	286 33.8%	132 15.6%	131 15.5%	280 33.1%	118 14.0%	23 2.7%	51 6.0%
なし	55 35.0%	38 24.2%	39 24.8%	20 12.7%	23 14.6%	43 27.4%	36 22.9%	5 3.2%	15 9.6%

### ⑤週 1 回以上施設利用者

「公民館などでの住民説明会の開催」という回答が最も多く、約 26%を占める。

しかしながら、全体的に回答が選択されており、「ワークショップの開催」や「対象施設の現地見学会を合わせた検討会の開催」「公募市民等がインターネットや電子メールで意見を出す制度の導入」についてもそれぞれ 15～17%となっている。

	取組参加の方法								
	公民館などでの住民説明会の開催	対象施設の現地見学会を合わせた検討会の開催	ワークショップ(様々な立場の人が自由に意見を出し、考えをまとめていく場)の開催	シンポジウムやセミナーの開催	市民委員として参加する検討委員会の設置	公募市民等がインターネットや電子メールで意見を出す制度の導入	わからない	その他	無回答
回答数	62	39	40	15	20	36	16	3	49
割合	26.3%	16.5%	16.9%	6.4%	8.5%	15.3%	6.8%	1.3%	20.8%

### ⑥利用施設数別

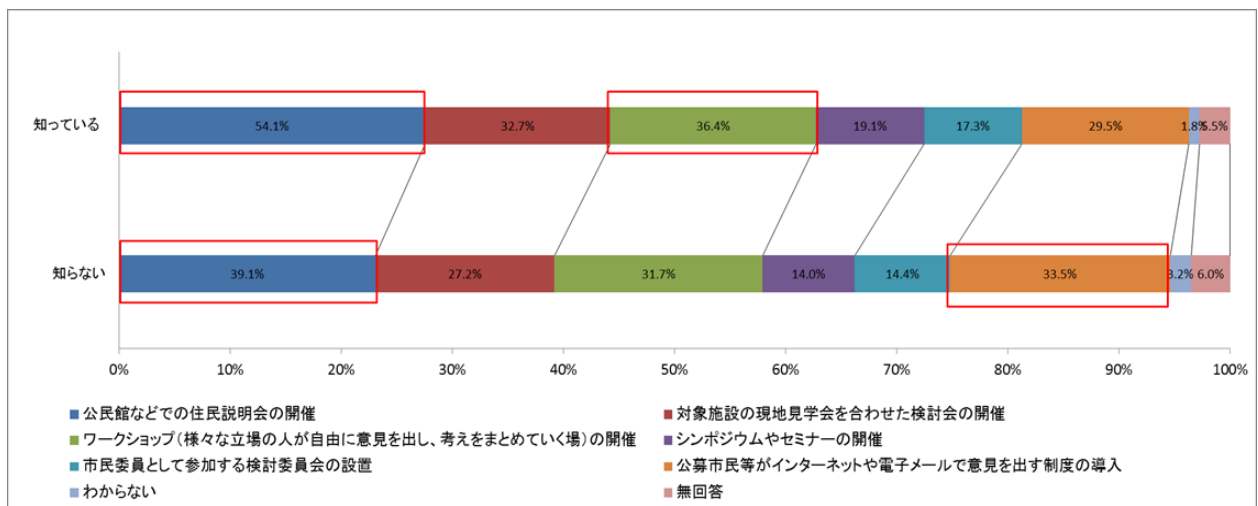
利用施設数が最も多いグループを除き、最も回答が多かった回答は、「公民館などでの住民説明会の開催」であった。次いで、割合が高い参加方法は「ワークショップ」や「公募市民等がインターネットや電子メールで意見を出す制度の導入」であった。最も利用施設数が高いグループは、「対象施設の現地見学会を合わせた検討会の開催」及び「ワークショップ」の割合が高い。

利用施設数	取組参加の方法								
	公民館などでの住民説明会の開催	対象施設の現地見学会を合わせた検討会の開催	ワークショップ(様々な立場の人が自由に意見を出し、考えをまとめていく場)の開催	シンポジウムやセミナーの開催	市民委員として参加する検討委員会の設置	公募市民等がインターネットや電子メールで意見を出す制度の導入	わからない	その他	無回答
0	55 35.0%	38 24.2%	39 24.8%	20 12.7%	23 14.6%	43 27.4%	36 22.9%	5 3.2%	15 9.6%
1～5	194 39.5%	130 26.5%	159 32.4%	76 15.5%	76 15.5%	167 34.0%	79 16.1%	13 2.6%	29 5.9%
6～10	136 48.7%	90 32.3%	99 35.5%	50 17.9%	43 15.4%	88 31.5%	32 11.5%	8 2.9%	19 6.8%
11～15	34 49.3%	24 34.8%	26 37.7%	5 7.2%	11 15.9%	23 33.3%	7 10.1%	2 2.9%	3 4.3%
16～25	2 28.6%	3 42.9%	3 42.9%	1 14.3%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

## ⑦公共施設マネジメントの認知

公共施設マネジメントの取組みの認知によらず、取組参加の方法として、最も高い回答割合は「公民館などでの住民説明会の開催」であった。特に、取組みについて知っているグループでは、その割合が半数以上（54%）となっている。次いで高い割合となっているのは、取組みについて知っているグループでは「ワークショップ」であるが、取組みについて知らないグループでは、「公募市民等がインターネットや電子メールで意見を出す制度の導入」となった。

公共施設マネジメントの取組み	取組参加の方法								
	公民館などでの住民説明会の開催	対象施設の現地見学会を合わせた検討会の開催	ワークショップ(様々な立場の人が自由に意見を出し、考えをまとめていく場)の開催	シンポジウムやセミナーの開催	市民委員として参加する検討委員会の設置	公募市民等がインターネットや電子メールで意見を出す制度の導入	わからない	その他	無回答
知っている	119 54.1%	72 32.7%	80 36.4%	42 19.1%	38 17.3%	65 29.5%	22 10.0%	4 1.8%	12 5.5%
知らない	295 39.1%	205 27.2%	239 31.7%	106 14.0%	109 14.4%	253 33.5%	128 17.0%	24 3.2%	45 6.0%



### 【全体】 その他の意見

- 「議論や対話等、市民の声を聞く場の開催」について…9件
- 「行政の関与」について…3件
- 「イベント等での説明開催」について…4件

### 【週1回以上施設利用者】 その他の意見

- 「議論や対話等、市民の声を聞く場の開催」について…1件
- 「行政の関与」について2件

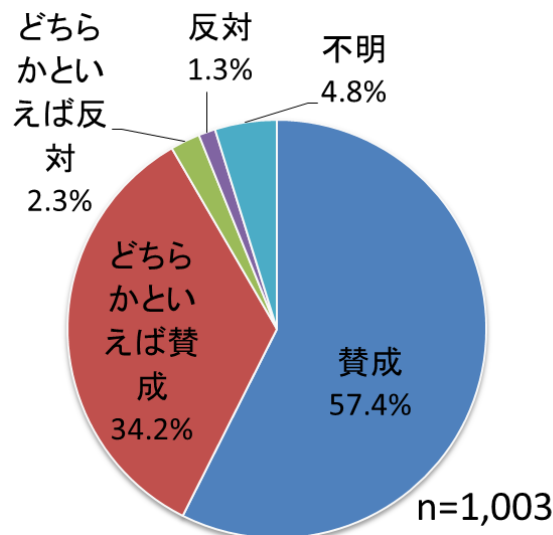
(6) 今後、公共施設等については、将来の人口や財政規模に見合う保有量に調整する一方、将来的に必要な施設はさらに充実を図っていく必要もあります。

これらを両立させるためには、新設、更新、規模縮小、統廃合、民間活力の導入など、多様な手段について、様々な角度から検討し、計画的に実行していくことが必要です。

糸島市では、今後の市の方針を「糸島市公共施設等総合管理計画」として平成28年度に策定し、この問題について、市民の皆様とともに取組んでいきたいと考えています。

このような「公共施設マネジメントの取組み」を進めることについて、どう考えますか。

「公共施設等マネジメントの取組み」を進めることについては、回答者の半数を超える、約57%が賛成を示した。また、本取組みに対し、肯定的な（「賛成」及び「どちらかといえば賛成」）回答は、約92%を占め、非常に高い支持を得ていることがわかる。



回答項目	回答数	割合 (%)
1. 賛成	576	57.4
2. どちらかといえば賛成	343	34.2
3. どちらかといえば反対	23	2.3
4. 反対	13	1.3
不明	48	4.8
全体	1,003	100



#### 4. その他のクロス集計による分析

##### (1) 公共施設の利用有無

【クロス分析】 以下属性区分で実施 ①年代別 ②子育て世帯 ③校区別

利用率 82.6%の糸島市役所を除く 25 施設を対象として、1 つ以上の公共施設の利用がある人は、845 人 (84.2%) であった。

年代別、子育て世帯、校区別にみる公共施設の利用有無はいずれも「利用したことがある」と回答した人の割合が高かった。特に、子育て世帯ではその割合が高かった。

##### ①年代別

各年代の回答者のうち、公共施設の利用があると回答した割合が最も高いのは、30 代であることがわかる。一方で、公共施設を一度も利用したことがないと回答した人の割合が最も高い年代は 20 代である。

年代	公共施設の利用		合計
	あり	なし	
20代	55 76.4%	17 23.6%	72 100%
30代	114 87.7%	16 12.3%	130 100%
40代	149 87.1%	22 12.9%	171 100%
50代	164 82.8%	34 17.2%	198 100%
60代	232 86.2%	37 13.8%	269 100%
70代 以上	131 80.9%	31 19.1%	162 100%

##### ②子育て世帯

子育て世帯の、「公共施設の利用がある」と回答した割合は、95%と、高い割合であった。

	公共施設の利用		合計
	あり	なし	
回答数	172	9	181
割合	95.0%	5.0%	100%

### ③校区別

いずれの校区においても、「公共施設の利用がある」と答えた人の割合が高いことがわかる。特に引津校区では、回答者の90%が「公共施設の利用がある」と回答した。

校区	公共施設の利用		合計
	あり	なし	
波多江校区	113 86.3%	18 13.7%	131 100%
東風校区	51 87.9%	7 12.1%	58 100%
前原校区	96 80.0%	24 20.0%	120 100%
前原南校区	64 80.0%	16 20.0%	80 100%
南風校区	96 87.3%	14 12.7%	110 100%
加布里校区	63 87.5%	9 12.5%	72 100%
長糸校区	8 80.0%	2 20.0%	10 100%
雷山校区	29 82.9%	6 17.1%	35 100%
怡土校区	63 85.1%	11 14.9%	74 100%
一貴山校区	31 81.6%	7 18.4%	38 100%
深江校区	51 86.4%	8 13.6%	59 100%
福吉校区	36 85.7%	6 14.3%	42 100%
可也校区	78 83.0%	16 17.0%	94 100%
桜野校区	15 75.0%	5 25.0%	20 100%
引津校区	45 90.0%	5 10.0%	50 100%
引津校区(姫島)	3 75.0%	1 25.0%	4 100%

## (2) 利用したことがある施設数

### 【クロス分析】 以下属性区分で実施 ①年代別 ②子育て世帯 ③校区別

年代別、子育て世帯、校区別にみる公共施設の利用施設数は、「1～5」「6～10」施設という回答が多いが、子育て世帯は「6～10」施設という回答が最も多く、より多くの公共施設を利用していることがわかる。

#### ①年代別

利用施設数は、各年代で「1～5 施設」と回答した人の割合が最も高いことがわかる。次いで回答が多い施設数は、20代では「0 施設」で、約24%となっているが、その他の年代では、「6～10 施設」と回答した人の割合が高い。

年代	利用施設数					合計
	0	1～5	6～10	11～15	16～25	
20代	17 23.6%	39 54.2%	13 18.1%	2 2.8%	1 1.4%	72 100%
30代	16 12.3%	58 44.6%	45 34.6%	9 6.9%	2 1.5%	130 100%
40代	22 12.9%	73 42.7%	57 33.3%	18 10.5%	1 0.6%	171 100%
50代	34 17.2%	107 54.0%	41 20.7%	15 7.6%	1 0.5%	198 100%
60代	37 13.8%	137 50.9%	84 31.2%	10 3.7%	1 0.4%	269 100%
70代 以上	31 19.1%	77 47.5%	39 24.1%	15 9.3%	0 0.0%	162 100%

#### ②子育て世帯

子育て世帯が利用する公共施設の数には、「6～10 施設」の割合が最も高く、約44%である。次いで多いのは「1～5 施設」で、「1～10 施設」を利用すると回答した利用者の割合合計は、全体の80%を占める。

	利用施設数					合計
	0	1～5	6～10	11～15	16～25	
回答数	9	65	80	25	2	181
割合	5.0%	35.9%	44.2%	13.8%	1.1%	100%

### ③校区別

概ねいずれの校区においても、利用したことがある施設数は「1～5 施設」と回答した人の割合が最も高かった。次いで、「6～10 施設」と回答した人の割合が高い。前原校区、前原南校区、可也校区等では、公共施設を全く利用したことがない人が2割程度いた。

校区	利用施設数					総計
	0	1～5	6～10	11～15	16～25	
波多江校区	18 13.7%	66 50.4%	41 31.3%	3 2.3%	3 2.3%	131 100%
東風校区	7 12.1%	28 48.3%	19 32.8%	4 6.9%	0 0.0%	58 100%
前原校区	24 20.0%	60 50.0%	23 19.2%	12 10.0%	1 0.8%	120 100%
前原南校区	16 20.0%	40 50.0%	19 23.8%	5 6.3%	0 0.0%	80 100%
南風校区	14 12.7%	57 51.8%	33 30.0%	5 4.5%	1 0.9%	110 100%
加布里校区	9 12.5%	39 54.2%	17 23.6%	6 8.3%	1 1.4%	72 100%
長系校区	2 20.0%	6 60.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100%
雷山校区	6 17.1%	15 42.9%	13 37.1%	1 2.9%	0 0.0%	35 100%
怡土校区	11 14.9%	31 41.9%	24 32.4%	8 10.8%	0 0.0%	74 100%
一貴山校区	7 18.4%	18 47.4%	10 26.3%	3 7.9%	0 0.0%	38 100%
深江校区	8 13.6%	24 40.7%	23 39.0%	4 6.8%	0 0.0%	59 100%
福吉校区	6 14.3%	21 50.0%	13 31.0%	2 4.8%	0 0.0%	42 100%
可也校区	16 17.0%	44 46.8%	25 26.6%	9 9.6%	0 0.0%	94 100%
桜野校区	5 25.0%	9 45.0%	6 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	20 100%
引津校区	5 10.0%	29 58.0%	11 22.0%	5 10.0%	0 0.0%	50 100%
引津校区(姫島)	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	4 100%

## 5. 自由回答

※アンケートの趣旨に沿ったものから抽出

【全体】 その他の意見	
● 「計画策定」について…1件	● 「公共施設へのアクセス」について…21件
● 「現施設に対する改善要求」について…23件	● 「料金負担」について…4件
● 「合併」について…2件	● 「新規整備」について…34件
● 「インフラ」について…4件	● 「取組みに対する要望」について…4件
● 「公共施設マネジメント推進意見」…18件	● 「民間活用」について…9件
● 「公共施設マネジメント反対意見」…2件	● 「複合化」について…2件
● 「統廃合」について…13件	● 「集約化」について…4件
● 「公共施設マネジメントや公共施設」に対する意見…53件	
【週1回以上施設利用者】 その他の意見	
● 「現施設に対する改善要求」について…15件	
● 「公共施設マネジメントの取組みの進め方」について…11件	
● 「新規整備」について…9件	

## 糸島市の公共施設等に関する市民アンケート

～皆様のご意見をお聞かせください～

### 公共施設等に関するアンケート調査にご協力ください（想定回答時間 10～15 分）

日頃から、市政の運営にご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。

糸島市では、平成28年度の策定を目指して、「糸島市公共施設等総合管理計画」の検討を進めています。

この計画は、学校や公民館などの公共施設、道路・橋などの公共インフラ施設の老朽化が進む一方、全国的に維持・更新費用の確保が難しくなっていることから、国が全国の自治体に策定要請を行っているものです。

現在、糸島市では保有する施設の現状調査や分析を進めており、今後、市民や有識者の意見を反映しながら、これからの公共施設等のあり方について検討していきます。

このアンケートは、市民の皆様が公共施設の利用状況や今後の新設、建替え、維持等に関する考え方などをお尋ねし、ご意見を計画に反映させるために実施します。

お忙しい中、まことに恐縮ですが調査の主旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願ひします。

#### 実施概要

- 1 調査対象 満20歳以上の市民の皆様から、**2,000人**を無作為に抽出。  
※糸島市個人情報保護条例第14条（目的外利用）第2項第5号の規定に基づき、糸島市個人情報保護審議会の承認を受け、住民基本台帳から抽出を行っています。
- 2 調査方法 アンケート用紙に直接ご記入いただき、**1月27日（水）までにアンケート用紙のみ、同封の返信用封筒で切手を貼らずに投函**してください。  
※期限を過ぎて提出された場合、調査結果に反映できませんので、ご了承ください。  
※アンケートの発送、回収、分析にかかる作業は、株式会社日本経済研究所（東京都）に委託して実施しているため、返信先は糸島市役所ではありません。

#### その他

- 1 **宛名のご自身の状況**を記入してください。アンケートは**無記名**です。
- 2 ご記入いただいた内容は、**上記の目的以外に使用することはありません**。

#### 【問い合わせ先】

糸島市役所 総務部  
財政課 行政改革推進係  
糸島市前原西1丁目1-1  
TEL 092(332)2102  
(担当:富村、久我)



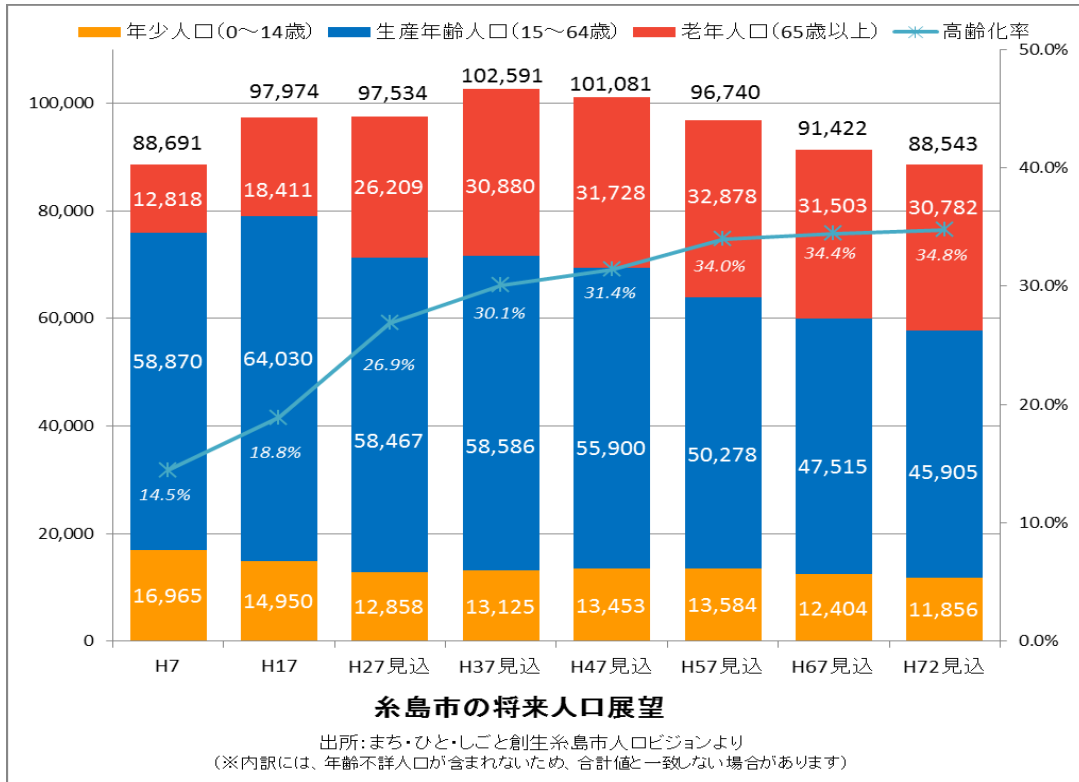
# ～ 糸島市の公共施設等を取り巻く状況 ～

※アンケートの前にお読みください。

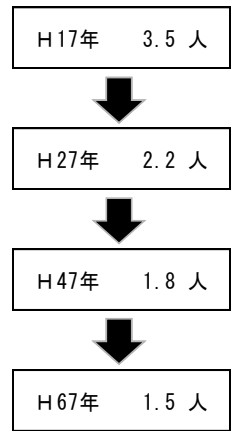
糸島市のこれからの人口推移、財政見込、公共施設等の状況をお伝えします。

## 1. これからの糸島市の人口見込みは？

- ✓ 長期的には、全体人口が減少する一方、少子高齢化が進展し、65歳以上の高齢者の割合が急増。
- ✓ 生産年齢人口が減少し、現役世帯にかかる負担が大きくなる見込み。



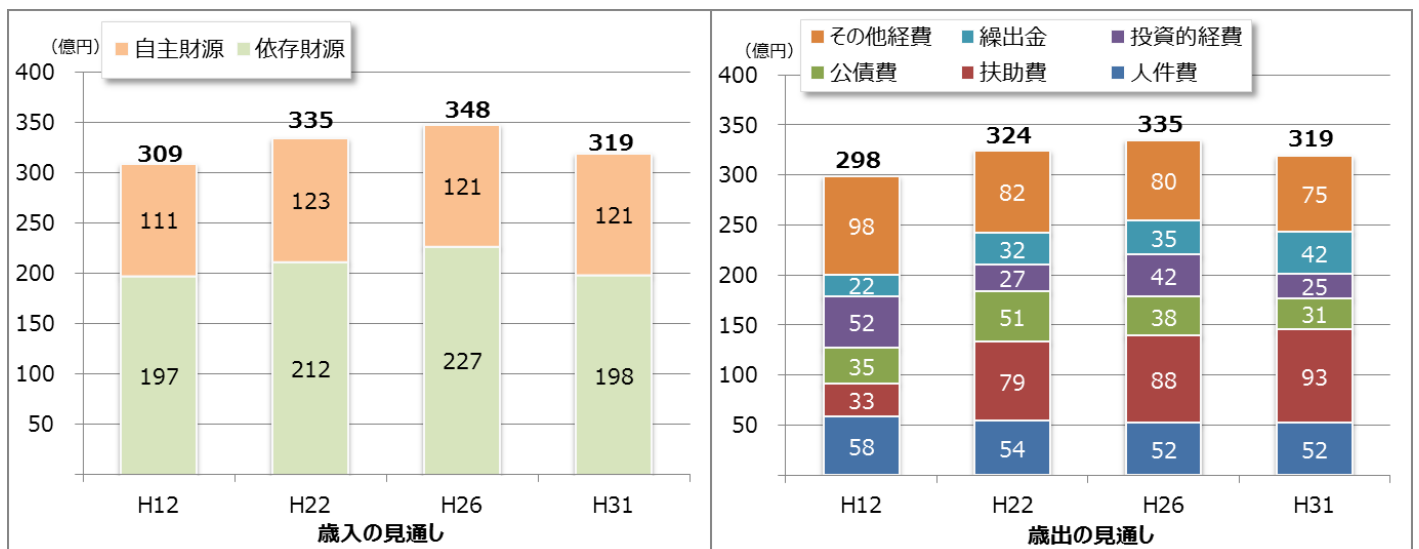
【高齢者1人を支える生産年齢世代の人数】



※公共施設等を支える生産年齢世代数も同様に減少

## 2. これからの糸島市の財政状況は？

- ✓ 合併による国の財政優遇措置の終了や人口減少に伴う税収減等により、収入（歳入）が減少。
- ✓ 支出（歳出）では、高齢化の進展等により社会福祉のための経費（扶助費）が増加し、施設整備に使える経費（投資的経費）が伸び悩む。



### 3. 糸島市の公共施設の量は？

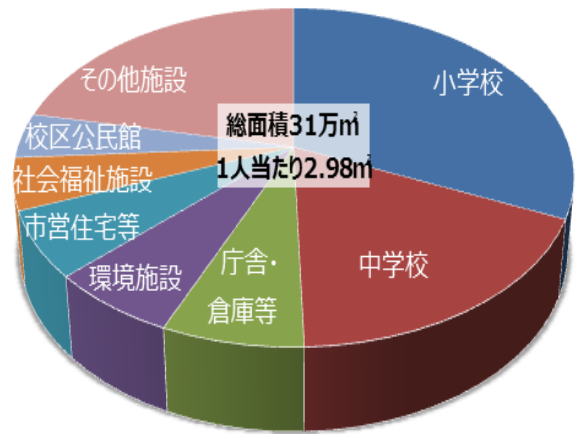
- ✓ 市民1人当たりの施設面積は2.98㎡で、福岡都市圏8市の中では2番目に広い。
- ✓ 公共施設の50%は、小・中学校が占めている。

福岡都市圏8市の市民1人面積当たり

自治体	1人当たり面積
太宰府市	1.89㎡
大野城市	1.95㎡
筑紫野市	2.17㎡
春日市	2.36㎡
宗像市	2.81㎡
福津市	2.84㎡
<b>糸島市</b>	<b>2.98㎡</b>
古賀市	3.31㎡

出所：平成24年糸島市調

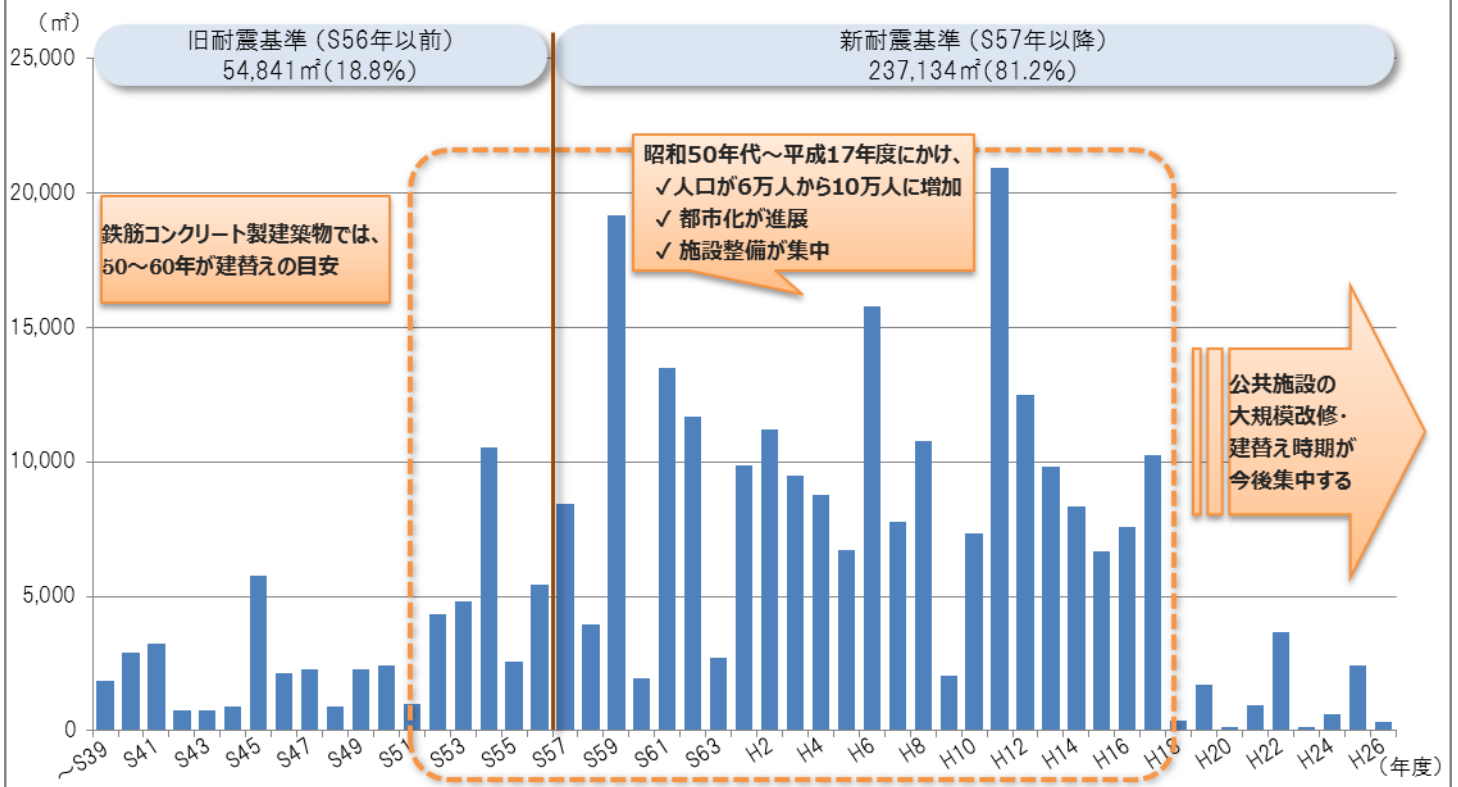
公共施設の建物面積の内訳



### 4. 糸島市の施設が建設された時期は？

- ✓ 市内の公共施設は、昭和50年代から平成17年にかけて建築された施設が多い。
- ✓ 今後、古い施設や老朽化が進んだ施設から、大規模な改修や建替え等の対応が必要となるが、現在と同じ施設量を維持するには、費用不足が生じる可能性がある。

糸島市公共施設の築年別整備状況





## 5. 市内にはどのような公共施設がある？

目的別分類	細分類	主な施設
市民文化・社会教育系施設	コミュニティ関連施設	校区公民館(15 館)
	図書館	糸島市図書館(本館、二丈館、志摩館)
	博物館等	伊都国歴史博物館、志摩歴史資料館、新町遺跡展示館、伊都郷土美術館
	その他	伊都文化会館、男女共同参画センターラポール、人権センター
スポーツ施設	スポーツ施設	体育館(2 館)、野球場(4 カ所)、運動場等(5 カ所)、テニスコート(2 カ所)
産業・観光施設	産業振興施設	応援プラザ、ファームパーク伊都国、二丈交流体験広場、福ふくの里、瑞梅寺山の家、木の香ランド
	観光施設	岐志観光休憩所、白糸の滝ふれあいの里、観光地公衆トイレ等(25 カ所)
学校教育系施設	小学校	小学校(分校含む 17 校)
	中学校	中学校(分校含む 7 校)
保健福祉系施設	保健衛生施設	丸田納骨堂、糸島市斎場、休日夜間急患センター
	社会福祉施設	あごら、ふれあい、きらら、はまゆう、姫島保健福祉館、地域活動支援センター
	高齢者福祉施設	二丈苑、高齢者いこいの家(雷山、長糸、南風、東風)、はつらつ館、シニアプラザ
	児童福祉施設	神在保育所、子育て支援センター、放課後児童クラブ(20 クラブ)、笹山苑、病後児保育施設
行政系施設	庁舎等	糸島市役所本庁舎、二丈庁舎、志摩庁舎、旧自治会館(ハロワーク、コラボ糸島)、倉庫等
	教育施設	教育センター、教育相談室、適応指導教室
	消防施設	消防本部、消防出張所(前原、二丈、志摩)、分団詰所(17 カ所)
	環境施設	クリーンセンター
市営住宅等	市営住宅等	市営住宅(14 カ所)

【施設の位置図】(一部施設のみ表示)



## <アンケート設問>

別添の『～糸島市の公共施設等を取り巻く状況～』のとおり、今後、公共施設や公共インフラ施設（以下、公共施設等とする。）の老朽化が進む一方、人口減少や少子化・高齢化の進展、財政状況が一層厳しくなるなど、様々な課題が想定されます。

平成 22 年の合併後、一部施設では民間移譲や統合などに取組んできましたが、今後は、より一層の計画的な管理が必要です。糸島市では、このような課題に対応するため、「公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設等について計画的な「公共施設マネジメント」に着手していきます。

この取組みを進めるにあたり、公共施設の利用状況や今後の公共施設等のあり方について、皆様のご意見をお聞かせください。

★公共施設マネジメントとは・・・自治体等が保有する全ての公共施設について、人口、財政状況、住民ニーズ、将来の姿などを総合的に検討して、管理や活用を行っていく取組みのこと。

### I. 最初にあなたご自身についてお答えください。

(1) あなたの性別を教えてください。(1つだけに○印)

- 1 男性                      2 女性

(2) あなたの年齢について教えてください。(1つだけに○印)

- 1 20代                      2 30代                      3 40代  
4 50代                      5 60代                      6 70代以上

(3) あなたの家族構成について教えてください。(1つだけに○印)

- 1 単身世帯（ひとり暮らし）  
2 夫婦のみ  
3 子育て世帯（18歳以下の子どもと同居）  
4 親と子ども世帯（上記3以外の二世帯同居）  
5 三世帯同居  
6 その他（                      ）

(4) あなたがお住まいの校区について教えてください。(1つだけに○印)

- |         |         |          |             |
|---------|---------|----------|-------------|
| 1 波多江校区 | 5 南風校区  | 9 怡土校区   | 13 可也校区     |
| 2 東風校区  | 6 加布里校区 | 10 一貴山校区 | 14 桜野校区     |
| 3 前原校区  | 7 長糸校区  | 11 深江校区  | 15 引津校区     |
| 4 前原南校区 | 8 雷山校区  | 12 福吉校区  | 16 引津校区（姫島） |

(5) 糸島市に住んでいる期間を教えてください。(1つだけに○印)

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1 生まれてからずっと | 4 1年以上5年未満 |
| 2 10年以上     | 5 1年未満     |
| 3 5年以上10年未満 |            |

## Ⅱ. 公共施設の利用状況について

(1) 糸島市内の公共施設の利用状況についてお聞きします。

①あなたが、過去1年間に下表の公共施設を、どの程度利用したか教えてください。

表中の施設グループごとに「①利用状況」から1つ選び、番号に○印をつけてください。

②利用状況で「4. 利用したことがない」を選択した場合のみ、その理由を「②利用しなかった理由」から3つ以内で選び、番号に○印をつけてください。「キ その他」の場合はその理由も記入してください。

施設分類・施設名	選択肢	①利用状況				②利用しなかった理由						
		1 週に1回以上	2 月に1回以上	3 年に1回 数回	4 利用したことがない	ア 利用する機会がなかった	イ 交通の便が悪い	ウ 施設自体を知らない	エ 他市の同種の施設を利用	オ 希望日時に利用できない	カ 利用料が高い	キ その他
記入例) ○○館		1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
市民文化・社会教育系	校区公民館	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
	図書館(本館・分館)	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
	博物館	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
	歴史資料館	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
	伊都文化会館	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
	男女共同参画センター	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
	人権センター	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
スポーツ系	体育館	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
	野球場	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
	運動広場	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
	テニスコート	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
	小中学校施設(グラウンド、体育館等)	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
産業観光系	応援プラザ	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
	福ふくの里	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
	ファームパーク伊都国	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
	瑞梅寺山の家	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
	木の香ランド	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
	白糸の滝ふれあいの里	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ

施設分類・施設名	選択肢	①利用状況				②利用しなかった理由						キ その他について具体的に記入してください	
		1週に1回以上	2月に1回以上	3年に1回以上回数	4利用したことがない	ア 利用する機会がなかった	イ 交通の便が悪い	ウ 施設自体を知らない	エ 他市の同種の施設を利用	オ 希望日時に利用できない	カ 利用料金が高い		キ その他
保健福祉系	きららの湯（健康）	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	
	あごら（社会福祉）	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	
	ふれあい（社会福祉）	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	
	二丈苑（高齢者福祉）	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	
	いこいの家（高齢者福祉）	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	
	はつらつ館（高齢者福祉）	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	
	子育て支援センター（児童）	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	
行政系	糸島市役所（支所含む）	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	

### Ⅲ. 今後の公共施設等の方向性

(1) 公共施設の老朽化、人口減少、少子化・高齢化、厳しい財政状況等は、全国の自治体の共通課題です。

多くの自治体では、公共施設の全てを現在の規模のまま、将来にわたり、維持・更新（建替え）していくことが難しくなることから、施設保有量の見直しや維持管理のあり方を検討する「公共施設マネジメント」の取組みを進めています。あなたはこのような取組みを知っていますか。

※1つだけ選択し、番号に○をつけてください。

- 1 知っている
- 2 知らない

(2) 糸島市でも合併後、施設の統合や民間移譲を進めてきましたが、今後は将来に渡って、市全体の公共施設のあり方を考える「公共施設マネジメント」に取り組んでいく必要があります。

取組みの方向性として、あなたの考えに近いものは、次のうちどれですか。

※1つだけ選択し、番号に○をつけてください。

- 1 公共施設の規模を大きくしたり、新しいものを増やしていく
- 2 今ある公共施設をそのままの規模で建替えながら維持していく
- 3 人口や財政規模に合わせ、必要な公共施設を適切な量に調整していく
- 4 防災や法令上必要な公共施設のみ残し、他の施設は全て減らしていく
- 5 その他（ )

(3) 公共施設の適切な維持管理や建替え、新設などに際して、次のような方策により、財政負担の減や収入の確保が考えられますが、あなたはどのように考えますか。

※①から⑦のそれぞれについて、1から4の中から1つだけ選択して○印をつけてください。

また、この他にあなたが考える方策があれば、⑧にご記入ください。

方策 \ 考え	1.実施すべき	2.どちらかといえば実施すべき	3.どちらかといえば実施すべきではない	4.実施すべきではない
①建替えの時は、より小さい規模とすること、新設の時は、他の施設を減らすことなどを原則とし、施設総量を減らしていく 【単純削減・財政負担減】	1	2	3	4
②統廃合*1 や複合化*2 により、必要なサービスを特定の施設に集約しながら、施設総量を減らしていく 【機能集約・財政負担減】	1	2	3	4
③今ある施設を改修しながら、できるだけ長く使用していく 【長寿命化・財政負担減】	1	2	3	4
④民間施設の利用や、施設の更新・管理運営などに民間資金を活用するなど、民間の力を積極的に導入していく 【民活導入・財政負担減】	1	2	3	4
⑤地域活動に密着する施設は、その活用も含め地域に任せ、住民が主体的に維持管理を担うようにしていく 【地域活用・財政負担減】	1	2	3	4
⑥利用者の負担を拡大していく (施設利用料の引上げなど) 【利用者負担増・収入確保】	1	2	3	4
⑦市民全体で不足費用を負担していく (特別な増税など) 【全体負担増・収入確保】	1	2	3	4
⑧その他 ※あなたが考える方策が他にあれば、ご記入ください。				

\*1…統廃合は、複数の施設で行っていたサービスを廃止し、1つの施設に集約して実施すること。

\*2…複合化は、異なるサービスを行う複数の施設が1施設内に同居してサービスを提供すること。(例：二丈庁舎に、図書館分館、公民館、子育てセンターが同居)

(4) 公共インフラ施設（道路、橋りょう、公園、上下水道、漁港など）の適切な維持管理や更新に際して、次のような方策により、財政負担の減や収入の確保が考えられますが、あなたはどのように考えますか。  
 ※①から⑤のそれぞれについて、1から4の中から1つだけ選択して○印をつけてください。  
 また、この他にあなたが考える方策があれば、⑥にご記入ください。

方策 \ 考え	1.実施すべき	2.どちらかといえば実施すべき	3.どちらかといえば実施すべきではない	4.実施すべきではない
①利用が少ない公共インフラ施設は、廃止も含め縮小し、全体量を削減していく 【単純削減・財政負担減】	1	2	3	4
②今ある公共インフラ施設は、補強や改修を行い、できるだけ長く使っていく 【長寿命化・財政負担減】	1	2	3	4
③更新や管理等に民間のノウハウや資金を活用していく 【民活導入・財政負担減】	1	2	3	4
④地域に密着した公園等は、地域住民が維持管理を担っていく 【地域活用・財政負担減】	1	2	3	4
⑤市民全体で不足費用を負担していく（特別な増税など） 【全体負担増・収入確保】	1	2	3	4
⑥その他 ※あなたが考える方策が他にあれば、ご記入ください。				

(5) 今後、個別具体的な公共施設等のあり方について、市民の皆様と問題を共有し、その適正なあり方を考えていくことが重要となります。

あなたが、その場に参加する場合、どのような方法が参加しやすいと考えますか。

※3つ以内で選択し、番号に○をつけてください。

- 1 公民館などでの住民説明会の開催
- 2 対象施設の現地見学会を合わせた検討会の開催
- 3 ワークショップ（様々な立場の人が自由に意見を出し、考えをまとめていく場）の開催
- 4 シンポジウムやセミナーの開催
- 5 市民委員として参加する検討委員会の設置
- 6 公募市民等がインターネットや電子メールで意見を出す制度の導入
- 7 わからない
- 8 その他（ )

(6) 今後、公共施設等については、将来の人口や財政規模に見合う保有量に調整する一方、将来的に必要な施設はさらに充実を図っていく必要もあります。

これらを両立させるためには、新設、更新、規模縮小、統廃合、民間活力の導入など、多様な手段について、様々な角度から検討し、計画的に実行していくことが必要です。

糸島市では、今後の市の方針を「糸島市公共施設等総合管理計画」として平成 28 年度に策定し、この問題について、市民の皆様とともに取組んでいきたいと考えています。

このような「公共施設マネジメントの取組み」を進めることについて、どう考えますか。

※1つだけ選択し、番号に○をつけてください。

- 1 賛成
- 2 どちらかといえば賛成
- 3 どちらかといえば反対
- 4 反対

#### IV. 意見・提言

糸島市の公共施設マネジメントの取組み、その他公共施設に関してご意見がございましたら、ご記入をお願いいたします。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。